

NPO法人好きっちゃ北九州

【令和4年度 活動報告】





～はじめに～

私たち NPO 法人好きっちゃん北九州は、自分のまちへの愛着を深め、このまちの人たちが地域愛を感じながら、生き生きと暮らしていけるまちづくりを目指しています。

令和4年度は、脱コロナ、with コロナの状況のなか、段々と活動が賑やかなものとなってきました。大目的である『地域愛の育み』をテーマに、様々な活動を展開することができました。

『地域子ども交流事業』においては、イベント性が高いため、コロナ禍前ほどは復活できていませんが、大蔵校区にてまちの魅力発見「まち探検」を実施できたことは大きな成果でした。

コロナ禍でもニーズが絶えなかったのは『防災まちづくり』の活動です。各種イベントや行事がなくなっていく、地域住民を繋ぐものが薄れてきています。そんななか、防災まちづくりにおいては、地域住民共通の課題であることと、コロナ禍でも継続する切実な課題として、多くのご依頼をいただきました。特に、『あそぼうさい』においては、多世代交流と子ども達を対象とした活動は、防災をテーマにしつつも、地域の大切なニーズにお応えすることができたと思います。

令和4年度から定款の改定のもと始めた『未来ディスカッション事業』は、社会づくり・未来づくりという、大きな意味でのまちづくりにチャレンジする事業です。社会教育・生涯学習、ESD・SDGs、市民活動、防災・福祉・安全というようなテーマにも取り組みました。

これまでも大切にしてきた『協働』という視点においては、地域や主催団体との協働はもちろんのこと、市民活動者どうしや、行政機関との連携も深めていくことができました。市民活動者どうしによる『NPO・ボランティアフォーラム』や、『北九州 ESD 協議会』、そして防災に関わる人が集うプラットフォームとして設立した『防災 Lab.北九州』でも活動いたしました。

当 NPO 法人の重要な活動の担い手として、北九州市内の生徒・学生と連携した『好きっちゃんアカデミー』では、多くの学生達と活動することができ、各種の活動を盛り上げていただくとともに、これからの北九州を創っていく担い手の育成・活躍の場にもなっています。

今後とも、社会のニーズ、地域のニーズにお応えするとともに、北九州の活性化、地域づくりへの支援、このまちで育っていく子ども達が自分のまちへの愛着や誇りを抱けるように、各種の活動を進めてまいりたいと考えています。



【令和4年度 活動報告】

■地域子ども交流事業

ア 好きっちゃん大蔵『まちを見つめよう!』ESD 講座 R4.5.28	1
イ 好きっちゃん葛原 2022～地域の記憶を記録として残そう～ R4.8～R5.3	2
ウ 好きっちゃん応援団の輪拡大推進事業	
(ア) 門司区家庭教育リーダー等研修会 R4.5.26	3
(イ) 市民カレッジ地域カアップセミナー R4.6.21	4
(ウ) 福岡大学法学部「九州地域政策」 R4.11.8	5
(エ) 秋っちゃん北九州!大人の修学旅行 R4.11.20	6

■防災まちづくり事業

ア 地区 Bousai 会議運営支援事業	
(ア) 枝光第二区 Bousai 会議	
第4回 Bousai 会議 R4.5.10	7～
第5回 Bousai 会議 R4.6.26	9～
第6回 Bousai 会議 R4.9.13	11～
第7回 Bousai 会議 R4.12.13	13～
第8回 Bousai 会議 R5.2.14	15～
(イ) 平野地区 Bousai 会議 R4.6.10	17
(ウ) 大蔵地区 Bousai 会議フォローアップ R5.1.21	18
イ あそぼうさい	
(ア) 貴船あそぼうさい R4.7.2	19
(イ) 合馬あそぼうさい R4.7.25	20
(ウ) 第1回赤崎『未来の種』事業 R4.7.27	21
(エ) 貫あそぼうさい R4.7.30	22
(オ) 高須あそぼうさい R4.8.17	23
(カ) 企救丘あそぼうさい R4.8.27	24
(キ) 朽網あそぼうさい R4.10.8	25
(ク) 赤坂あそぼうさい R4.10.22	26
(ケ) 吉田ふれあい防災フェス R4.10.6	27
(コ) 松ヶ江南小学校あそぼうさい R4.11.11	28

(サ) 貴船小学校 70 周年記念 PTA 事業 R4.11.12	29
(シ) 志井あそぼうさい R4.11.26	30
(ス) 東朽網学童保育クラブあそぼうさい R4.12.23	31
(セ) 児童館指導員研修:徳力児童館あそぼうさい R4.12.28	32
(ソ) 守恒本町子ども会あそぼうさい R5.2.25	33
ウ 地域を見つめる防災まちづくり講座	
(ア) 男女共同参画地域フォーラム(東朽網) R4.7.28	34
(イ) 二島 Bousai 訓練 R4.9.30	35
(ウ) 白野江生涯学習講座 R5.2.18	36
■ 未来ディスカッション事業	
ア 社会教育・生涯学習	
(ア) 広徳小学校家庭教育学級 R4.6.23	37
(イ) 広徳小学校家庭教育学級 R4.12.8	38
イ ESD・SDGs	
(ア) 第2回赤崎『未来の種』事業 R4.8.10	39
(イ) 第3回赤崎『未来の種』事業 R4.8.24	40
(ウ) 八幡西区ボランティア連絡協議会『あなたにもできる身近なSDGs』 R4.11.15	41
(エ) 北九州 ESD 協議会『北九州のパブリックヒストリー』 R4.11.26	42
(オ) ESD プロモート実習『全国ツツウラウラ!?地域防災トーク』 R5.1.21	43
ウ 市民活動	
(ア) 八幡西区 生涯学習ボランティア養成講座 R4.9.13	44
(イ) 北九州 NPO・ボランティアフォーラム・秋・冬・春 R4.10~R5.3	45~
エ 防災・福祉・安全	
(ア) 両谷市民センター暮らしの防災講座講座 R4.5.18	47
(イ) 明治学園高校防災・減災講座 R4.6.28	48
(ウ) 葛原校区社協ウエルクラブ R4.8.20	49
(エ) ギラ☆ランド de あそぼうさい R4.9.11	50
(オ) 小倉南区親子ふれ合いルームさざん防災講座 R4.9.17	51
(カ) 令和4年度様々な分野での女性の参画推進講座@ムーブ R4.10.29	52
(キ) 『防災 Lab.北九州』の設立、学び合いの会 R4.5.6~R5.3	53~

講座・イベント:61回 活動対象:4,012人

『好きっちゃアカデミー』 純人数:67人、延べ人数:234人



ESD出前講座「まちを見つめよう」 大蔵市民センター編



- 1 日時 令和4年5月28日（土）10：00～12：00
- 2 場所 大蔵市民センター
- 3 参加者 24名（大くらっ子土曜学級：13名、地域の方：4名、好きっちゃ：7名）

今日は大蔵市民センターの子ども講座「大くらっ子土曜学級」の第1日目。ESD出前講座「自分たちの町を見つめよう」をテーマに、お招きいただきました。

今日行うのは班対抗のフォトテレーリング。子ども達に配られたのは、15ヶ所の写真とクイズが書かれた問題用紙。写真をヒントに、その場所を訪れてクイズに答えます。難易度や場所ごとにポイントを設定し、正解するとポイントが得られます。クイズは現地に行かないと分からない難問ばかりで、少しでも多くの場所に行って、クイズに正解できた班の優勝！という仕組みです。



早速、チームに分かれて作戦会議。どこに行こうか？探検時間は1時間。全部の場所を訪れることは難しく、行く場所とルートを計画することがとても大切です。

準備が出来た班から出発！行ってらっしゃ～い！

ある班が訪れた場所は大蔵橋梁の跡。「この煉瓦は何積みでしょう？」という難問を前に、説明看板を見つけた子どもから「あっ、イギリス積！」と声が上がります。さあ、次はどこへ行こうか！？



次々と目に映る街並みや景色。普段通らない路地裏に一步踏み入ると、そこはまるで新世界のよう。あっという間の1時間。後ろ髪を引かれる思いでセンターに戻ってきた子ども達は、息をつく間もなく、答え合わせを始めます。さて、一番ポイントを得られた班は・・・。

普段何気なく生活しているボク・ワタシの町も、改めて見ると知らない事ばかり。子ども達は「川が綺麗」とか、森厳な神社の雰囲気「ちょっと怖い」とか、長い石段に「地獄階段」と名付けたり・・・五感を使って学習します。子ども達の持つ豊かな感性や、旺盛な好奇心を引き出すフィールドワーク。体験による学びの豊かさを、改めて感じさせられました。



今回は子ども講座の初日。子ども同士の交流はもとより、新班長さん（6年生）のリーダーシップ、一体感を醸成する狙いもあって「班ごとに競う」という要素を取り入れました。また、地域学習の講座には、その土地の方々との協働が欠かせません。実施にあたっては「地域の先生となる方」をご紹介いただき、全面的な協力のもと実現することが出来ました。

好きっちゃ葛原2022（令和四年度事業） 地域の「記憶」を「記録」として残そう



- 1 日時 令和4年8月 ～ 令和5年3月
- 2 場所 葛原市民センター
- 3 参加者 のべ100名以上

「好きっちゃ北九州」からスピンアウトして始まった「好きっちゃ葛原」。3年目となる令和4年度の実業は「地域の“記憶”を“記録”として残す」こと。葛原市民センターの「地域・人づくり支援事業」の一環として行われました。

もともとは「好きっちゃ北九州」の「ぼくのまち、わたしのまちを紹介しつて」事業をきっかけに、「子供たちに教える前に、大人が地域を知らないといけん」という思いで立ち上がった「好きっちゃ葛原」。市民センターを中心とした講座も3年目の節目を迎え、これまでの聞くだけの講座ではなく、アクションを起こす「イベント」にしてはどうか・・・という提案で、大きく「舵」を切りました。



そのアクションこそが、「地域の“記憶”を“記録”として残す」こと。つまり、これまで地域の方から聞いた話を「本」として残そうという試みです。

市民センターの呼びかけで集まった有志は20人。なんと14歳～80歳という、まさに世代を超えた「仲間」たちでした。



「好きっちゃ葛原」の代表、久保田氏が作成した草稿を読み合わせる形で勉強会は進みます。そのうち、「いや、その話は違う!」、「こんな話もあるけど、知っとるか?」と話はドンドン脱線・・・、その「記憶」が再び新しい「記録」として付加されて、令和5年の2月。ついに1冊の本が完成しました。その題名は「葛原と史（ふびと）の記（しるし）」。

「史（ふびと）」には「歴史を伝える人」という意味があります。「地域の歴史」を伝えるのは「地域の人」、国でも市でも学校でもない。あくまでも主人公は「地元=葛原の人=史」であるという思いが込められています。

令和5年の1月には、市民センターの「健康づくり」講座とタイアップした「ウォーキング講座」も開催されました。「古代の海岸線を歩く」というテーマで、地域の歴史×防災×健康づくりを兼ねた内容になったのだとか。地域のことをもっと知ってもらおう試み！次なるアクションが楽しみです。



令和5年度から、「好きっちゃ葛原」は「葛原の歴史を綴る会」として、新たなスタートを切ることになりました。市民センターから独立し、自主学習グループとして有志15人で進行します。いよいよ、これからが本番です！

門司区家庭教育学級リーダー等研修会 ～『参加したくなる講座の作り方』～



- 1 日時 令和4年5月26日(木) 10:00~12:00
- 2 場所 生涯学習総合センター(各市民センターからオンライン参加)
- 3 参加者 83人



令和3年度に続き、門司区での『家庭教育学級リーダー等研修会』を担当させていただきました。各市民センターとオンラインで接続し、館長・担当職員さんをはじめ、教職員や保護者の皆さんにも参加していただきました。

今回は、『協働』に関することや、家庭教育学級やPTAの意義について研修を行いました。今回はもう少し踏み込んだところで、『講座の作り方』に着目しました。

とはいえ、『令和4年度問題』として、PTAの任意加入問題が挙げられます。この問題に端を発し、PTAの脱退化、省力化が進んでいるのが現状で、どの地域も課題になっています。

<p>テーマ 昨年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 企画の作り方(起こし方) ⇒種 仲間を増やしていくコツ ⇒協働 講座をより良いものにする⇒色付け 色々な場面で役立つテクニックとは! 	<p>今年度の課題</p> <p>PTAの任意加入問題</p> <p>家庭教育学級、大丈夫?</p>	<p>今日のテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭教育学級について改めて考える。 皆さんの気持ちの中に、既に何かしらの答えがきっとあるので、アウトプットする。 今後の家庭教育学級への視座を得る。 	<p>PTAとは</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>子どもの教育 教職員と保護者による組織</p> <p>教職員たち 保護者たち</p> <p style="text-align: center;">PTA</p> <p>任意の団体 社会教育団体</p> </div> <p>家庭教育学級の本質的に果たす役割は大きい</p>
<p>PTAの任意加入問題</p> <ul style="list-style-type: none"> 半強制的 ⇒ 選ばれるPTA とりあえず ⇒ 本質的な共感 仕方なく ⇒ 食わず嫌い <p>PTAの意味、意義って何だろう?</p>	<p>素朴な疑問?</p> <p>講座は誰が企画するの?</p> <p>市民センター</p> <ol style="list-style-type: none"> ①市民センターが企画する ②市民センターと保護者等が一緒に企画する ③保護者等が企画する <p>保護者等</p>	<p>協働のススメ、コミュニケーションギャップ</p> <p>『協働は素晴らしい!』この言葉、通じてる?</p>	<p>ディスカッション</p> <p>Q: 今年度の家庭教育学級、どうしましょう?</p> <ul style="list-style-type: none"> どのように企画するか? どんなテーマ・ポリシーで行うか? どこから進めていくか?

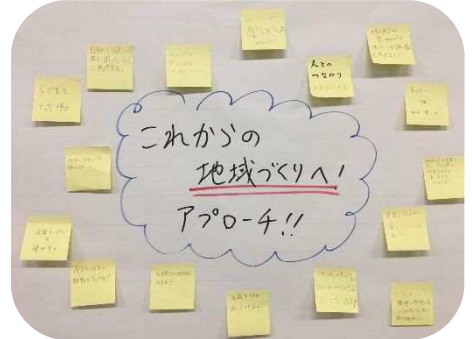
家庭教育学級の醍醐味としての、『保護者達が何を学びたいか』を実感していただけるよう、過去にあった良かった学習内容などをディスカッションしていただき、研修内でも、どのようなことを学んでいきたいかを話し合う場を設けました。

家庭教育学級の最大の意義は、何を学びたいかを話し合う、最初の場面にあるものと考えています。市民センターやPTAの皆さんと一緒にテーブルで課題や目的を共有し始めるときに『協働』が生まれます。

北九州市民カレッジ 地域カアップセミナー ～新しい地域づくり～



- 1 日時 令和4年6月21日(火) 13:00~15:00
- 2 場所 生涯学習総合センター
- 3 参加者 25人



北九州での『地域づくり』においてとても大切なセミナーである『地域カアップセミナー』に久々にお呼びいただき、『新しい地域づくり』について担当しました。

コロナ禍を経て更に、地域コミュニティのありようや人が繋がる場面が難しいものになっています。受講者の皆さんと一緒に考えてみました。各テーマにおいて、グループ内で話し合っていました。

<p>今日の話題・テーマ</p> <p>『新しい地域づくり』 ⇒地域のありようが変わっている</p> <p>これからの地域活動に活かせる 手法・ノウハウ・視座を得る</p>	<p>地域のありようの変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不要不急? ・ 物も情報も豊かに ・ “面” から “個” に ・ 協調性から利己的に ・ 多様性から無関心に <p>コミュニティの希薄化 地域活動の市民活動化 一部の負担と任意化 人や家庭の孤立化</p>	<p>ディスカッション</p> <p>Q: 地域活動や家庭において PTAがある意義って何でしょう?</p> <ul style="list-style-type: none"> ● これまでの経験 ● 現在悩んでいること <p>自由に話しましょう。</p>
<p>ディスカッション</p> <p>Q: 子どもを真ん中にした地域づくりは 協働や想いの輪が拡がりやすいです。 どのような活動をしてみたいですか?</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 身近な事例や課題 ● 理想の状態やそのアプローチなど <p>自由に話しましょう。</p>	<p>ディスカッション</p> <p>Q: 『これから』の地域づくりにおいて どのようなことを意識してアプローチ していきたいですか?</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 話を聞いての感想 ● 希望的・理想的なことでも良いです <p>自由に話しましょう。</p>	<p>『これから』の地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意味や意義を見出す、感じる ・ 効率的かつ効果的に(コスト感覚) ・ 『協働』の関係 ・ 情報の発信 ・ 面的なものより、『個』を意識 ・ トップダウンよりボトムアップ



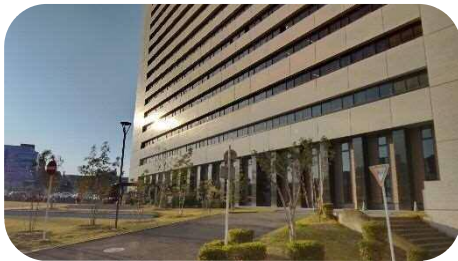
コミュニティの希薄化など、地域のありようが変わっていくなかで、これからの地域づくりで大切な視点について、以下の4点で話し合っていました。

- ① PTAの意義、② 子どもを真ん中にした地域づくり、③ 安全や安心という共通項、④ これからの地域づくりへのアプローチ。
- 最後に皆さんで一言ずつ『宣言』をアウトプットしました。

地域のコミュニティは、半強制的な『面』から、任意での『点』に変わりつつあり、それは『選択縁』の社会への変化です。だからこそ、それぞれの活動の意義を見出したり、感じたり、発信することが大切であったり、より一層の『協働』の感覚が重要です。

福岡大学法学部法律学科 九州地域政策（防災計画）

- 1 日時 令和4年11月8日（火）16:20~17:50
- 2 場所 福岡大学
- 3 参加者 71人



毎年、1コマの授業枠をいただいて講義を行っている福岡大学法学部の九州地域政策。防災行政に関するオムニバス式の授業で、国・県・市や、消防・自衛隊などの災害対応行政機関の担当者が順に講義をするなかで、地域での防災まちづくりについて、現場プレイヤーならではの講義内容についての依頼をいただいています。

<p>R4.11.8 ©福岡大学法律学科</p> <p>九州地域政策（防災計画）</p> <p>配布資料のとおり 大きく「4つ」のテーマでお話します！ 赤い字で答えを示します！ 随時、書き込んでください！ 最後にアンケートもあります。自由に記載してください。</p>	<p>まちの魅力を探る ↓ 地名・地形を見る ↓ 歴史・遺産・価値・魅力が見えてくる ↓ 備えるべき災害が見えてくる！！</p>	<p>大雨災害による犠牲者ゼロ！ みんな de Bousai まちづくり</p> <p>【住民主体の防災】 自助・共助・公助</p>
<p>大雨災害による犠牲者ゼロ！ みんな de Bousai まちづくり</p> <p>【避難のあり方（例）】 「ウチにおいでよ」避難 「行っても良い？」or「ウチにおいで！」 どちらが言いやすい？</p> <p>ご近所の2階建ての家 ご近所のマンション たとえば</p>	<p>みんなであそぼう！ ほろさいダンス 「心配性ヒーロー」★</p> <p>歌詞をよく聞いて一緒に踊って命を守るために大切なことを覚えよう！</p>	<p>災害は、暮らしのなかにあること 防災を自分事と感じるために 遊びながら「考える・感じる」 防災に、取組みやすくする</p>
<p>好きっちゃアカデミー★ NPO法人好きっちゃ北九州と 協働・連携する 学生 の集まり</p>	<p>学生との協働 【若者・よそ者 効果】 ○活気、活力 ○マンパワー ○新しい風 ○子ども達は嬉しい！ (斜め上の関係)</p>	<p>異世代交流・学生との協働</p>

地域に根差した『防災まちづくり』の活動として、地域ごとの地形や地名などと関連した自分のまちを見つめる目線や、Bousai会議の取組みについて紹介しました。地域住民どうして声を掛け合い、共感の中で安心をつくっていくことが重要であるとお話しました。

また、地域の中での多世代交流のツールとしての『あそぼうさい』について紹介しました。いくつかゲームを示してイメージを持ってもらいました。これらの活動を、好きっちゃアカデミーの学生たちと一緒に取り組んでいることをご紹介し、アンケートにも多くの反響を書いていただきました。

『自分は北九州出身なので、あそぼうさいのことは知ってました！』とアンケートに書いてくださった学生もいて、とても嬉しかったです。一緒に活動できなくとも、こうして想いを広めていくことが大切です。

秋っちゃ北九州！『大人の修学旅行』



- 1 日時 令和4年11月20日（日）9：00～17：00
- 2 場所 小倉南区：平尾台牡鹿洞・ます淵ダム・春吉眼鏡橋
門司区：白野江植物公園・門司電気通信レトロ館・関門トンネル人道
- 3 参加者 好きっちゃメンバー8人、好きっちゃアカデミー16人、子ども3人



2年ぶり2回目となる「大人の修学旅行」は、多くの学生の参加もあり、新たな交流の機会となりました。当初の雨予報を覆して天候にも恵まれ、みんなの笑顔も晴れやか！自然を満喫し、歴史を学ぶこともできるプログラムで、北九州の魅力を再発見。「また行きたい！」と思えるステキな旅になりました。



修学旅行の企画会議や実踏、しおり作成などの準備の他、終了後には動画作成、フォトコンテストの企画など、学生メンバーが主体となって盛り上げました！講座等での関わりだけでなく、今回のような交流を通して若者の視点や感性に触れることも、良い刺激になると思いました。

枝光第二区「まち歩き」活動に防災の要素をプラス

枝光第二区では、災害による犠牲者を出さないために、命を守る行動マニュアル「地区防災計画」を作成するために、「まち歩き」の各チーム（A～I）で検討を進めています。

5月8日（火）の第4回会議では、チームごとに、「まち歩き」の地図を見ながら、まちの変化や災害の起こりそうな箇所などの情報を事前に共有し、防災視点で確認する項目の内容を決めました。



第5回は6月26日（日）Bousai 訓練の要素を加えた「まち歩き」を実施します！

【「まち歩き」のチーム編成】

Aチーム（枝光本町1～3、白川町1） Bチーム（諏訪1-1～4） Cチーム（諏訪2-2・3、藤見町）
Dチーム（諏訪2-1、白川町2～3） Eチーム（日の出1-1～2） Fチーム（日の出1-3、日の出2-1・4）
Gチーム（日の出2-2、大宮町） Hチーム（日の出2-3・5、3-4） Iチーム（日の出3-1～3）

◆ 防災要素を加えた「まち歩き」の進め方について

【防災要素の加え方】全チーム必須でチェックする項目と、選択式の項目について決めました。



- ・災害の起こりそうな危険箇所をチェックし、共有する
- ・一人暮らしの高齢者など連絡を取るべき人の確認する
- ・危険箇所を通報（知らせる）人の確認する

CHECK：全チーム共通で実施



- ・『どこがどういう状況になったら』避難開始を決めるという現地確認する
- ・避難判定ルールの確認、共有する

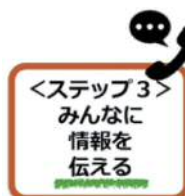
【このまちの避難のポイント】

高齢者が多い&階段や坂が多いため、ギリギリの避難は×
早めの避難○
を想定しておきましょう。

情報を活用した判定基準を決める

- ・避難情報
- ・台風情報

など



- ・連絡網などの確認や実践する
- ・連絡のつく人、つかない人を地図と現地で確認する

CHECK：A・B・D・G・Iチーム



- ・安全を確保する場所（避難所）へ実際に移動してみる
- ・サポートが必要な人を地図と現地で確認する


CHECK：A・B・E・F・H・Iチーム

◆「地区防災計画」とは？ 災害が発生する前の「命を守る4つのステップ」について、各チームごとに定めておくもの。下の枠内を埋められるように行動やルールについて話し合い、検討を進めていきます。

◆避難情報

警戒レベル	新たな避難情報等	
5	 災害発生 又は切迫	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保 ※1
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~		
4	 災害の おそれ高い	ひなんしじ <b>避難指示</b> ※2
3	 災害の おそれあり	こうらいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b> ※3
2	 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	 今後気象状況 悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)

**【このまちの避難のポイント】**

大雨や台風の場合は、 **情報**  
事前に情報を受け取れる場合があります。

Check ポイント：  
 ・自宅で待機（自宅避難）  
 ・市民センターに避難  
 ・ホテルに泊まる  
 ・家族や親戚、知人、友人の家に避難

どんな避難行動を取るか？連絡先の確認。

Check ポイント：  
 ・避難の判定基準を決める

3：高齢者等避難 が発令されたら？  
 4：避難指示が発令されたら？

◆サポートが必要な人への対応・声かけ

3つの『ちえん』

血縁

地縁

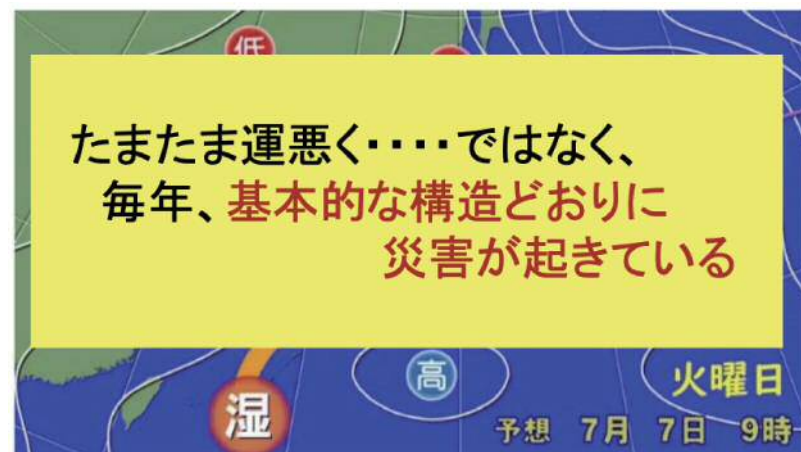
知縁

- 連絡はつくか？
- 近くに頼る人はいるか？
- 家族の連絡先は？
- 移動避難は必要か？

**【このまちの避難のポイント】**

・町内会組織と民生委員さんの情報を合わせて、サポートが必要な人の把握から進められると◎

◆温暖化の影響で、豪雨や強い台風の多発などの災害が例年起きるように…



**たまたま運悪く…ではなく、  
毎年、基本的な構造どおりに  
災害が起きている**

火曜日  
予想 7月 7日 9時

**【このまちの避難のポイント】**

豪雨災害で死者が出なかった地域では、「ご近所の声かけ」がきっかけで避難が行われていました。

Check ポイント：  
 ・早めの避難  
 ⇒ 空振り多いが、命が助かる確率「高」  
 ・ギリギリ避難  
 ⇒ 現象が起きてから、避難大変になる

次回6月26日(日)開催の第4回では、「まち歩き」を行います。  
従来の「まち歩き」に防災要素を取り入れ、チェックや確認を進めます。

## 防災の要素をプラスした、 枝光第二区「まち歩き」を実施しました！



枝光第二区では、災害による犠牲者を出さないために、命を守る行動マニュアルとして、「地区防災計画」を作る Bousai 会議を実施しています。

6月24日(日)には、例年の「まち歩き」に防災要素をプラスした内容で、チーム(A~I)ごとに町の現状確認と、防災・災害に関わるチェックを実施。地図に情報を書き込んだ後、チームごとに発表を行いました。

「まち歩き」は、九州大学・志賀研究室と協働で行っており、大学生・大学院生も参加しました。

### ◆ 防災要素：災害の起こりそうな危険箇所をチェックし、共有する

#### 危険箇所の一例

- ・建物の外壁、塀・階段等のコンクリートが崩れそう
- ・空き家の劣化により、屋根が飛びそう、瓦が落ちそう
- ・更地にした場所（高い位置）からの雨の流れが心配
- ・側溝の詰まり
- ・擁壁の落下や崩落の恐れあり（ひび割れ、膨らみ等）

全体として、空き家に関連して生じている危険箇所が多いため、早急な解決は難しいものの、まずは調べた情報の共有が大切です。危ない場所の住民に優先的に情報を伝えられる連携（連絡先の把握・日頃のコミュニケーション）が取れているというチームもありました。



チームごとに、町の変化や危険箇所などの情報を地図に書き込みました



#### 継続的なチェックと住民への周知の必要性

- ・住民同士のコミュニケーションや行政への要望により、危険な状態から改善している箇所も見られ、「まち歩き」の継続は成果を生んでいる。
- ・擁壁のひび割れなど、数年で大きな悪化が見られる箇所もあり、注意して見続けることと近隣住民への注意喚起の必要性を再認識。
- ・避難経路など知らない人もいるので、周知が必要。

日頃から町をよく見ている住人からの避難呼びかけや注意喚起は、実際の避難行動にもつながりやすいです。

◆ 防災要素：連絡のつく人、つかない人を地図と現地で確認する

◆ 防災要素：サポートが必要な人を地図と現地で確認する

### 発表内容の一例

- ・一人暮らしの高齢者かつ避難のサポートが必要な方を町内会長が把握できていて、電話や対面で会話できている。
- ・避難に関するアンケートを実施。回答があった人は、大雨災害時の避難先について把握できている。  
(避難先例：家族の家、ホテル、市民センター)
- ・民生委員の活動の一環で、一人暮らしの高齢者の情報がわかっていて、会話できる関係性がある。

危険箇所の把握に比べると、連携やサポートが必要な人の確認や把握の状況にはチームごとに差がありました。また、避難の移動手段については、課題や不安があるチームも多いようでした。



◆ 枝光第二区「地区防災計画」づくりの今後の流れ：

災害が発生する前の「命を守る4つのステップ」について、各チームごとに定めます。

下の枠内を埋めるように行動やルールについて話し合い、今年度の計画を策定します。

※「地区防災計画」は一度つくって終わりではなく、今後も改善していくものです。



＜ステップ1＞  
みんなで  
災害の兆しに  
気づく

【危険な場所・状態・確認すべきところは？】 【災害の兆しの通報先は？（情報の集め先）】



＜ステップ2＞  
みんなで  
避難開始を  
決める

【避難（行動）や、情報伝達を始める基準は？】



＜ステップ3＞  
みんなに  
情報を  
伝える

【情報伝達の仕方は？】



＜ステップ4＞  
みんなで  
行動する  
避難する

【安全を確保できる場所は？】 【その場所への移動方法は？】 【サポートが必要な人への対応は？】

Bousai 会議 今後の予定

9月：「まち歩き」の振り返り、「地区防災計画」の検討

秋季：防災訓練の実施

来年：訓練の振り返り、令和4年度「地区防災計画」の完成

台風第14号の5日前、9月13日（火）に、Bousai会議を開催しました。  
『まち歩き』と『台風第11号』についてのふりかえりと、  
これからの防災対策について先行事例の紹介がありました！

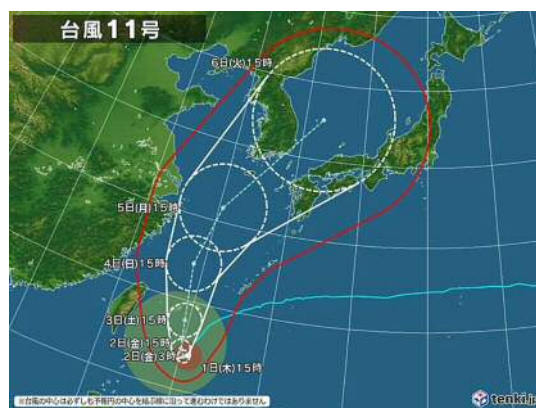


## ◆『まち歩き』のふりかえり

- 継続した確認を続けていることで、老朽化の進み具合を把握していたり、誰に連絡すべきかなどが分かっている。
- 危険な空き家を認識することは、災害時の備えにも繋がっている。
- 自分たちのまちを守る『自治』の活動になっている！
- 地図を活用して、連絡のとれる人やとれない人、災害時に支援が必要な人を『見える化』していきましょう！

## ◆台風第11号のときの対応についてふりかえりました！

- 台風が接近してくる際に、地域の中で、注意喚起や声を掛け合った例もありました。
- 実際に市民センターへ避難した例や、障害のある方がタクシーでホテルに避難された例もありました。
- 声を掛けてみると、「家にいるから大丈夫」という返答があったものの、声を掛けるのと掛けないのでは注意の仕方も違うと感じます。



## ◆市民センターでの避難者の受入れ状況（9月5日、台風第11号）

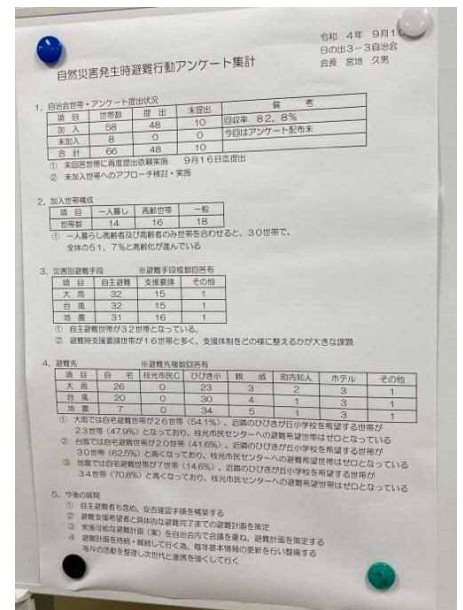
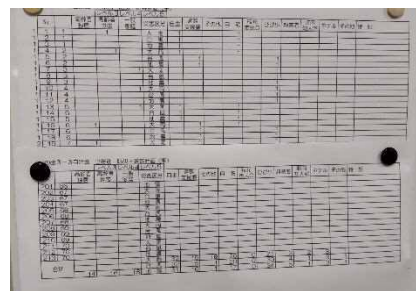
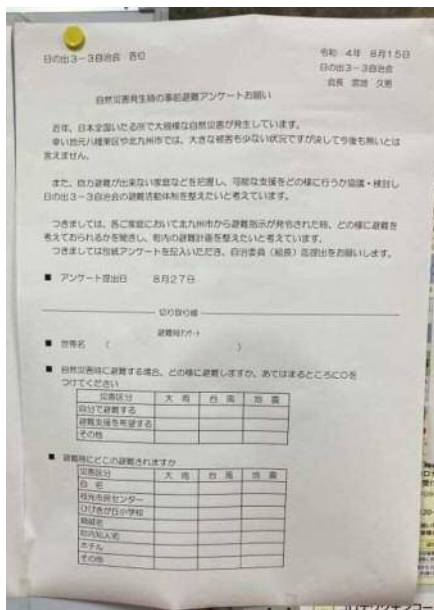
- 枝光市民センターには、5世帯9人が避難してきました。
- 感染防止対策と、プライバシー確保のため、家族ごとに入っていただくテントを準備していました。（和室6台、講堂8台）
- 会議参加者には、過去の大水害の経験から『逃げるが勝ち』、災害を甘く見らずに、早めの避難が重要という意見もありました。



# ◆防災対策での先行的な取組みを共有しました！



日の出3-3自治会で取り組まれている、各世帯への『防災アンケート』について、内容や実施方法、集計結果などを共有しました！  
町内会長でもある宮地校区会長が説明されました。



【写真】左:アンケート用紙、中央上:集計表、中央下:地図への反映、右:集計結果考察

アンケートは、町内会の未加入世帯も含めた全世帯を対象としており、回答しやすいようにシンプルな構成になっています。災害種別に応じた避難先の確認や、避難支援を希望するかどうかも回答していただくものです。

このアンケートを集計してみると、住民の防災意識や心配事が表面化しています。

特に、町内の中での避難支援を希望する人が明確になるとともに、助けに行ける若い世帯の人達と共有する資料になります。

今後、隣接する町内会で同様の取組みを広めていくこととしています。

## ◆今後のBousai会議の予定

- ・町内会（チーム）ごとの防災対策の進捗確認と共有
- ・台風接近時の防災計画（声かけルール）の検討
- ・令和4年度「地区防災計画」の検討

**【次回のBousai会議】**  
**12月13日(火)**  
**19時30分～**  
**枝光市民センター**

【主催】 枝光まちづくり協議会・枝光第二自治区会 【問合せ】 枝光市民センター ☎ 093-661-1034

## 『枝光第二区防災計画』の作成に向けて、 町内会ごとの防災計画を検討。



枝光第二地区では、災害による犠牲者ゼロを目指し、命を守る行動マニュアル「地区防災計画」をつくるための Bousai 会議を進めてきました。第7回では、枝光第二区としての防災まちづくりの目標と方針を定めました。「防災計画」策定の主な単位は町内会ごととし、命を守る4つのステップに基づいて、具体的な計画内容を話し合い、書き始めています。

### ◆ 枝光第二区 防災まちづくりの目標と方針

- ・災害による『犠牲者ゼロ』を目指す
- ・これまでの活動（まち歩き・防火まつり）に Bousai まちづくりの要素を加える
- ・校区全体での取り組みに併せて、「町内会ごとの防災計画」の作成を進める
- ・子どもたちを含めた、次世代を担う若い世代を巻き込む活動を展開していく
- ・点在する危険な場所や、支援の必要な人の把握とその対策、台風対策を検討する

### ◆ 避難行動アンケートと台風14号避難指示に係る連絡結果

- ・チームでの取り組みを1チーム（日の出3-1~3）から報告してもらいました。

#### 報告内容（抜粋）

- ・避難行動アンケートを全戸配布。災害別避難手段と避難先について回答を求めた。（回答数 127 世帯）
- ・自主避難世帯が 96~99 世帯、避難時に支援を要請したい世帯が 22~29 世帯だった。具体的な支援体制の検討が必要。
- ・台風14号接近時、警戒レベル4 避難指示が発令。日の出3-3では、避難要支援希望者15名に連絡し、9世帯と連絡が取れた。
- ・避難要支援の希望をもとに、避難指示を受けて連絡をるところまで実施できた。連絡がついた9世帯は今回、「自宅避難」を選択。一人世帯の方4名から電話をもらったことに対して「安心した」とお礼を言われた。



## ◆ 枝光第二区「地区防災計画」づくりの今後の流れ：

町内会ごとに、下の枠内を埋めるように行動やルールを書き込みます。

※4つのステップのうち、全町内「どれかひとつ」でも良いので検討を進めることになりました。

次回 Bousai 会議 2月14日(火)19時半～に提出していただきます。

 <p>&lt;ステップ1&gt; みんなで 災害の兆しに 気づく</p>	【危険な場所・状態・確認すべきところは？】 【災害の兆しの通報先は？（情報の集め先）】
 <p>&lt;ステップ2&gt; みんなで 避難開始を 決める</p>	【避難（行動）や、情報伝達を始める基準は？】
 <p>&lt;ステップ3&gt; みんなに 情報を 伝える</p>	【情報伝達の仕方は？】
 <p>&lt;ステップ4&gt; みんなで 行動する 避難する</p>	【安全を確保できる場所は？】 【その場所への移動方法は？】 【サポートが必要な人への対応は？】

### 「まち歩き」のチーム編成での検討状況、ご意見

A チーム(枝光本町1～3、白川町1)

・町内会長は交代があるため、引き継ぎが大切

B チーム(諏訪1-1～4)

・要介護者をピンポイントで確認 ・要介護者の避難先・避難方法の事前検討にあたり、福祉の連携が必要

C チーム(諏訪2-2・3、藤見町)

・空き家など危険個所を重点的に確認 ・連絡の分担、役割の再確認が必要 ・避難行動アンケート実施を検討

D チーム(諏訪2-1、白川町2～3)

・情報伝達のための組長会議を行う

E チーム(日の出1-1～2)

・ひとり暮らしの女性に声かけを行う、電話よりも直接訪問する

F チーム(日の出1-3、日の出2-1・4)

・組長の連絡網、組織づくりから始める ・地域の信頼関係、人間関係づくりが大切

G チーム(日の出2-2、大宮町)

・「何かあったら気楽に言って」と言い合える関係づくり、要望があったら動ける町内にしたい

H チーム(日の出2-3・5、3-4)

・怖いのは強風 ・世帯票づくりと避難行動アンケートを併せて行う

I チーム(日の出3-1～3)

・地域内の福祉施設との連携を進める ・計画全体を通した時系列的検討を進める

## 『枝光第二区防災計画』第一弾の完成に向けて、 町内会ごとの防災計画を確認。

枝光第二区では令和3年11月から、災害の犠牲者ゼロを目指して「地区防災計画」作成に向けて、8回にわたり Bousai 会議を進めてきました。

第8回は、計画第一弾策定のための最終会議でした。枝光第二区としての「防災計画」案の概要、取り扱い方針の確認と、各町内から計画内容を発表しました。

概要は下記の通りです。詳細をご覧になりたい方は、枝光まちづくり協議会までお気軽にお問合せください。

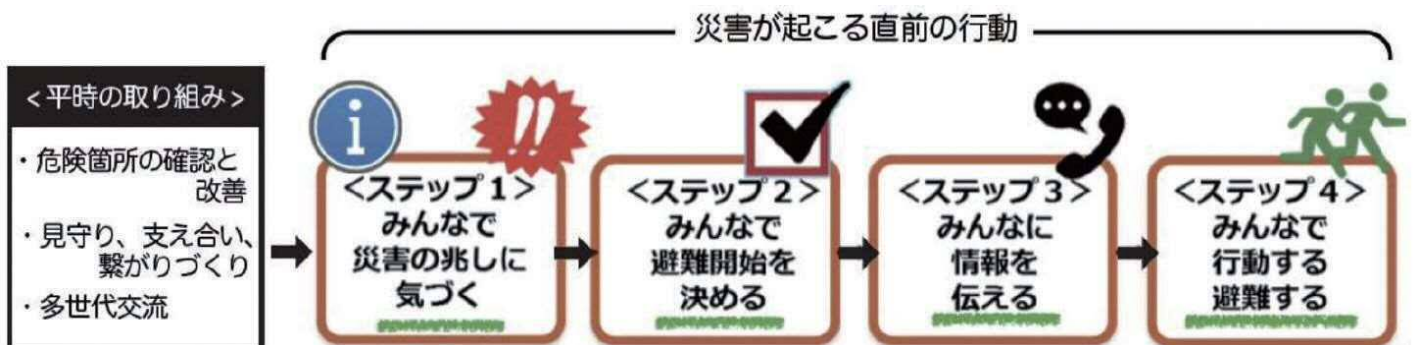


### ◆ 枝光第二区 防災まちづくりの目標と方針（再掲）

- ・災害による『犠牲者ゼロ』を目指す
- ・これまでの活動（まち歩き・防火まつり）に Bousai まちづくりの要素を加える
- ・校区全体での取り組みに併せて、「町内会ごとの防災計画」の作成を進める
- ・子どもたちを含めた、次世代を担う若い世代を巻き込む活動を展開していく
- ・点在する危険な場所や、支援の必要な人の把握とその対策、台風対策を検討する

### ◆ 防災計画は町内ごと4つのステップに基づいて検討し、策定

特に大雨災害や台風の備えに注力し、『災害が起きるかもしれない』ときの行動で、命を守る「4つのステップ」に基づいて、各町内ごとに計画を立案しました。



### ◆ 計画の取り扱いと更新（抜粋）

- ・防災計画は毎年、出水期前（5～6月頃）に更新する。
- ・各町内や各チームの取組みは、それぞれで責任を持って随時、計画に反映する。

## ◆ 各町内の防災計画について

話し合いはまち歩きのチームごとに進め、詳細部分は各町内ごとに策定します。  
詳細をご覧になりたい方は、枝光まちづくり協議会までお気軽にお問合せください。

### 町内会ごとの防災計画に記載されている例



- ・空き家、擁壁、倉庫、階段、坂道、がけ崩れ等への日常的調査の実施
- ・気象・避難情報の確認
- ・情報の周知方法を確立する必要あり(①情報を集める人②連絡先③防災リーダー決め)
- ・避難に関する住民アンケート実施
- ・一人暮らしの方への声かけ



- ・台風は進路、大きさ、暴風の強さによって判断
- ・大雨は予想降水量によって判断
- ・避難情報は警戒レベルを確認しての行動
  - 具体的な基準整備はこれから進める町内会が大半の状況
  - 住所や一人暮らしなど状況に合わせて行動を促す
  - 各自対応、自宅避難が前提の人たちも
- ・時間帯の考慮(夜の避難は危険なので暗くならないうちに行動するよう伝達)
- ・誠光園との日頃からの連携を深める



- ・世帯表を活用した一人暮らし世帯、要支援者の把握をもとに、電話や訪問で伝える
- ・マンションの場合は、各階での声かけを行う
- ・現在は町会長から連絡しているケースが多い、より役割分担を進めたい
- ・早めに情報を得た人は、町会長や役員に伝える連携も進める



- ・一人ではなく複数人での避難、明るいうちの避難を推奨
- ・自宅避難できる人は、自宅内の安全な場所で過ごす
- ・避難のサポートが必要な人とは避難前、後の連絡確認を行う
- ・自家用車乗り合い、タクシーなど避難手段の検討を進める

## ◆ 防災まちづくりへの取り組み（抜粋）

- ・町内ごと計画の推進と更新を進め、状況を鑑みて「伝達訓練」などを実施する。
- ・「まち歩き」に、危険個所の確認や連絡がつく世帯の確認等を盛り込む。
- ・住民の意識調査、実態把握のためのアンケート実施を推奨する。
- ・防災イベント等において、若い世代の参加、参画を推進する。

# 平野地区Bousai会議 フォローアップ

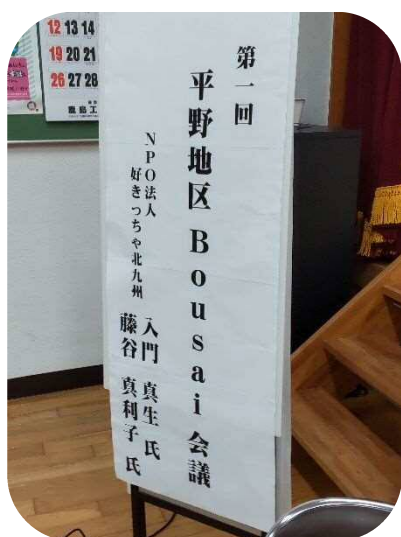


- 1 日時 令和4年6月10日（金）19：00～20：30
- 2 場所 平野市民センター
- 3 参加者 30人

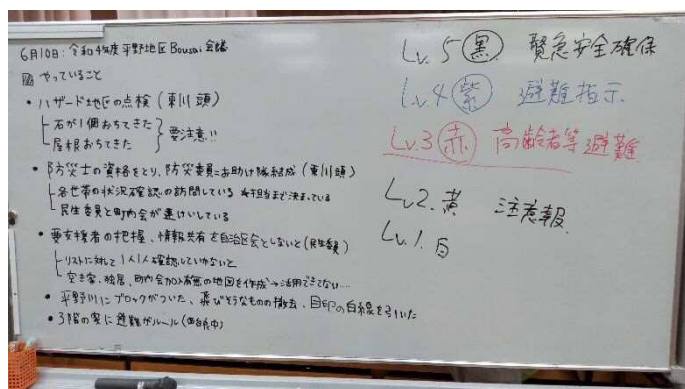
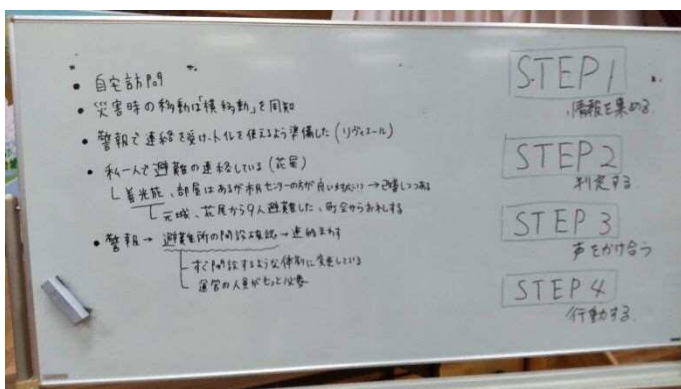
平成29年度から、『防災まちづくり』を支援してきた平野地区での、令和4年度Bousai会議にお招きいただきました。平野地区では、平成30年度にスタートした『Bousai会議』において『平野地区防災計画』を策定し、その後2カ年のフォローアップを行ってきました。

北九州市危機管理室の推進する『みんなde Bousaiまちづくり推進事業』の支援対象期間を過ぎても、こうして地域からお声かけいただき、地域の防災力の維持・向上へ支援させていただきました。

令和3年度は、コロナ禍で各種の活動が停止してしまい、1カ年が空いてしまいましたが、その間に、平野地区では、避難してくる住民を、住民自らが受入れを行う『避難所モデル事業』に着手されていました。



会議の中では、これまでの取組みの振り返りや、近年の災害の状況、地域で進んでいることなどを共有しました。特に、このまちでは、『早めの避難』が課題であり、いかに声をかけていく地域づくりが進められるかや過去の避難事例などを共有しました。避難所モデル事業において、避難者を受入れるために待機している人がいることの説明がされ、『もっと気軽に避難しよう』ということを確認しました。更に、参加者の中から、『自分も手伝いますよ』という嬉しい立候補もあり、有意義な会議になりました。



町内会活動での協力者がいないと嘆く方がおられ、「手伝ってください」とプッシュし過ぎると、引かれていってしまうから、『課題を真ん中に置く』ところから始めてみましょうとアドバイスいたしました。気長なチャレンジになるとは思いますが、『協働のまちづくり』の大切な第一歩です。

## 大蔵・河内地区Bousai会議フォローアップ



- 1 日時 令和5年1月21日（土）10:00~11:30
- 2 場所 大蔵市民センター
- 3 参加者 大蔵・河内地区の住民 42人

令和元年度から、『地区Bousai会議』による防災まちづくりを始めた大蔵・河内地区。

校区の中央を流れる大蔵川と、傾斜地の多いこのまちでは、とても熱心に防災活動に取り組んできました。

特に、各町内会単位での防災計画の検討においては、既存の町内組織の実効的な活用と、一方で、情報伝達などがより迅速にできるよう、組の組織を変更した町内などもありました。

メインファシリテーターの横田さんが、校区全体での『防災計画』をとりまとめ、さあ！印刷して、みんなに配布だ！！というときに、コロナ禍に突入……。フォローアップ事業そのものさえまなまりませんでした。

久しぶりに開催した『Bousai会議』！

3年度ぶりの開催で、懐かしの顔ぶれの皆さんとの再会が嬉しい反面、初めてお会いする方が半数ほどおられたり、この取組みしたいが初めて見聞きするという方もおられました。例えば2年間の町内会長などの任期においては、2代が替わっているということになりますよね。



防災まちづくりの基本は、まずは自分のまちを見つめること。地域のつくりや地形などについて、改めて見つめていきました。小規模・中規模の水害は河内貯水池で受け止めてくれているんだろうと思います。しかしながら、大規模な水害ともなると、これを越えてくる可能性があります。これに備えていきましょう。

防災まちづくりのもうひとつの基本は、地域コミュニティです。地域のなかで、声を掛け合える関係性づくりを日頃から構築していく必要があります。『防災計画づくり』を中心に置いて、ひとつずつ詰めていきたいと思いますとお話して、改めて確認しました。

とても熱心に考えていらっしゃる町内会長さんからの悩みの共有もありました。一足飛びにはいかないことばかりですが、ひとつずつ出来るところからクリアしていきたいですね。



防災に限らず、地域づくりは一朝一夕にはできません。また、いくら美しい計画があったとしても、実効性をもたせることは、別の話です。地域住民どうして関係性を築きながらひとつずつトライしていく他ないですね。

## 貴船市民センター『あそぼうさい・まなぼうさい』

- 1 日時 令和4年7月2日(土) 10:30~12:00
- 2 場所 貴船小学校 体育館
- 3 参加者 54人、参加学生12人



### ■実施内容「まなぼうさい」

- ・貴船校区のこれまでの防災の取り組みを紹介  
北九大：村江先生 まち協：醒井会長

### ■実施内容「あそぼうさい：ブースプログラム」

- ①防災×環境 北九大MATE's考案新ゲーム！
- ②8割がた大丈夫だろうゲーム
- ③災害ダーツ
- ④ダイソーグッズかるた
- ⑤災害ぶたのしっぽ
- ⑥浮き輪に魔法結び
- ⑦緊急速報ハンドベル

### ■実施内容「あそぼうさい：全体進行プログラム」

- ・河川水位を監視して！
- ・白熱！濡れないバケツリレー

今年度最初のあそぼうさいは、暑さをものともせず、小学校の体育館で思いっきり楽しみました！

日頃から馴染んだ体育館、そして大学生、高校生の若いエネルギーも相まって、子どもたちもスタートからパワー全開！遊びに夢中になっていても河川水位のチェックは忘れず、声をかけ合って避難する姿に、小学校が大切にする「みんなはひとりのために、ひとりはおみんなのために」の精神が体现されていると思いました。防災の根幹である、思いやること、助け合うこと、声をかけ合うことの大切さが、それぞれの心に根付いている地域だと感じました。



地域全体で防災に取り組む貴船校区が、子どもたちも防災の主体者に！と企画した『あそぼうさい』。地域の大人も子どもも、講座を通して関わる学生たちも大活躍だった今回の講座は、誰もがそれぞれの立場で活動の主体者になりうるということを、実感できるものになりました。



## 合馬小学校ウェルクラブ『あそぼうさい』

- 1 日時 令和4年7月25日（月）9：15～11：30
- 2 場所 合馬小学校 体育館
- 3 参加者 65人



夏休みに入ったばかりの合馬小学校で、校区社協主催でのウェルクラブにあそぼうさいが登場！  
小倉南区社協からと地域の皆さんへ呼びかけて、ボランティアの皆さんが20人も集まってくださいました！  
参加するみんな初めてのあそぼうさい・・・どうなることやら・・・と思いきや！楽しく実施できました！



プチポTシャツの子ども達と  
ボランティアの皆さん！

いつもは、好きっちゃんメンバーと、好きっちゃんアカデミーの学生達とお届けするあそぼうさいですが、  
日程的に、好きっちゃんメンバー1人だけで臨んだあそぼうさいとなりました。。。

でも！ボランティアの皆さんの熱意で！『あそぼうさいマニュアル』をもとに、以下の8個ものブースを  
展開してくださいました！

子ども達からは、『自分の命は自分で守れるようになりたい！』  
『まわりの人に声を掛けて助けてあげたい』など、とても頼もしい  
意見が聞かれました。参加したボランティアの皆さんからも、  
『次回以降も、小倉南区で開催があれば呼んでください！』と  
心強いお言葉をいただきました。



河川水位に達したのでみんなステージの上へ！



地震トイレトーパー



自分のまち地図パズル



山の形ボール投げ



災害ぶたのしっぽ



浮き輪魔法結び



災害ダーツ



災害×環境連想カード



緊急速報ハンドベル

防災を共通テーマとした、地域の多世代交流のツールである『あそぼうさい』 子ども達が命を守ってほしいというのは、住民全員の共通の願いです。誰一人として傍観せず、全員で取組んだ、とても素晴らしい活動となりました。ボランティアの皆さんの教え方の上手さに感心しました。

# 赤崎市民センター『未来の種事業』 第1回 なつやすみ☆キッズ防災アカデミー



- 1 日時 令和4年7月27日(水) 14:00~16:00
- 2 場所 赤崎市民センター
- 3 参加者 31人、参加学生4人



4回シリーズの「なつやすみ☆キッズ防災アカデミー」。  
第1回目の「ゲームで身につく“あそぼうさい”」では、楽しく遊びながら、体験型で防災を感じ、学んでもらいます。  
若松高校の生徒3人や地域の方々にも指導者になってもらい、地域一体で実施しました。  
職業体験に来た小学生の子ども達3人が、一緒に講座の準備や受付をしてくれた他、司会にも挑戦してくれました！



## ■実施内容「ブースプログラム」

- ①台風ボウリング
- ②災害ダーツ
- ③地震避難ぶたのしっぽ
- ④地震トイレットペーパー
- ⑤わがまち地図パネル
- ⑥環境×災害連想カード

## ■実施内容「全体進行プログラム」

- ・8割がた大丈夫だろうゲーム
- ・緊急速報ハンドベル
- ・台風家庭内避難  
自宅で安全な所はどこかな？
- ・災害グッズ暗記ゲーム  
家族に教えて準備しよう！



講座の最後には、「遊びながら防災について学ぶことができた」「台風に向きがあることが知れてよかった」「携帯トイレを用意しておくことを知らなかったの、家族に教えたい」等々、たくさんの感想を聞くことができました。子ども達は、遊びを通してそれぞれに気づきを得てくれたようです。楽しみながら、暮らしの中にある防災を感じてもらうことができました。



今回の『あそぼうさい』は、「環境と防災と自分たちの暮らしが繋がっていることを実感できるような講座に！」との思いで、地域の特性やテーマに合わせたゲームを選びました。体験や行動を通じて、防災に対する気づきや視線を育てていくような活動ができたのではないかと思います。

## 貫市民センター『あそぼうさい』



- 1 日時 令和4年7月30日(土) 9:30~11:30
- 2 場所 貫市民センター
- 3 参加者 52人、参加学生25人



### ■実施内容「ブースプログラム」

- ①緊急速報ハンドベル
- ②浮き輪に魔法結び
- ③地震避難ぶたのしっぽ
- ④災害ダーツ
- ⑤環境×災害連想カード
- ⑥台風ボウリング
- ⑦防災グッズ暗記ゲーム
- ⑧すごろくゲーム
- ⑨8割がた大丈夫だろうゲーム
- ⑩防災カルタ

### ■実施内容「全体進行プログラム」



全体進行と、冒頭の防災  
O×クイズを、北九大  
MATE 'sのメンバーが  
実施しました！

今回のあそぼうさいは、北九大MATE 's、水巻看護助産学校、北九大地域創生学群から、大勢の学生が参加して、大活躍しました！

最初は何が始まるのかと様子見をしているような子ども達も、お兄さん、お姉さん達が一生懸命な姿に、自然に笑顔が増えていき、いつの間にか夢中になって遊んでいました。学生の持つパワー、エネルギー、そして学生が地域活動に関わることの素晴らしさを、改めて実感する講座となりました。

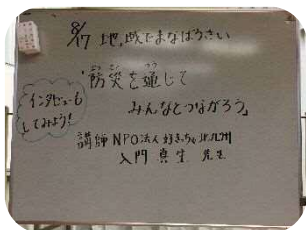


特に学生メンバーの実践の場となった今回の『あそぼうさい』。初参加のメンバーも多くいました。集合の駅から市民センターまで中型バスで一緒になって向かったこともあってか、みんなで一体となって取り組むことができました。今後も多くの学生の活躍の場を設けつつ、輪を広げていきたいです。

## 高須市民センター『あそぼうさい』



- 1 日時 令和4年8月17日(水) 10:00~12:00
- 2 場所 高須市民センター
- 3 参加者 35人、参加学生6人



### ■実施内容「ブースプログラム」

- ① 8割がた大丈夫だろうゲーム
- ② ダイソーグッズ暗記ゲーム
- ③ 災害はどこへ (空き缶ボール)
- ④ 災害ぶたのしっぽ ⑤ 地図パネル
- ⑥ 台風ボウリング ⑦ 家具固定実感工作

### ■実施内容「全体進行プログラム」

- ・自己紹介フォークダンス ・バースデーカード
- ・防災グッズ暗記ゲーム
- ・チーム戦! あそぼうさいサーキット
- ① 借り人競争 ② 災害はどこへ
- ③ 地図パネル ④ 8割がた大丈夫だろう

「防災を通してみんなつながろう」ということで、『未来の種事業』の1コマで、あそぼうさいを実施しました。

「人とのつながり」をテーマに、参加者同士がコミュニケーションを取れるようプログラムを工夫しました。

「挑戦!」という部分もありましたが、地域の人達の協力を得て、楽しみながらつながりを感じられる講座にできたのではないかと思います。

また、高学年の子ども参加が多いことから、ゲーム内容もそれに合ったものを選びました。



今回実施した「借り人競争」は、「借り物競争」の人バージョンです。「いつもパトロールしている人」や「料理が上手な人」などの情報が書かれたカードを引き、「助けてください!」と声をかけていきます。頼る子どもも頼られる大人も嬉しいゲームで、勇気を出して声をかけること、力を借りながら乗り越えることの大切さを伝えていくものになっています。

防災やまちづくりにおいて重要な要素である「人とのつながり」をテーマに実施した今回の『あそぼうさい』。「地域の中での多世代交流」というあそぼうさいの原点に立ち返るような講座になりました。今後も、つながることの楽しさや大切さを感じられる講座を実施していきたいです。

## 企救丘市民センター『あそぼうさい』



- 1 日時 令和4年8月27日（土）10：00～12：00
- 2 場所 企救丘市民センター
- 3 参加者 51人、参加学生9人



市民センターの子ども講座、企救丘小学校、志徳中学校の家庭教育学級との合同開催で、あそぼうさいを実施しました。

「親子で楽しんでほしい」ということをテーマにした今回のあそぼうさい。親子で一緒に楽しみながら防災を学ぶ中で、子どもの成長や気持ちを知ることができるなど、親子のコミュニケーションの場にもなったよ

### ■実施内容「ブースプログラム」

- ①環境×災害連想ゲーム
- ②すごろくゲーム
- ③ダイソーグッズかるた
- ④災害ぶたのしっぽ
- ⑤緊急速報ハンドベル
- ⑥車いす体験
- ⑦トランシーバーで伝達せよ

### ■実施内容「全体進行プログラム」

- ・防災クイズ：水巻看護助産学校のメンバーが、看護の目線を取り入れて、災害医療や衛生について学べるクイズを実施しました！
- ・災害伝言ダイヤル171：防災の日を前に、防災週間中は災害伝言ダイヤルの体験利用ができることや、使い方について説明しました。

うです。地域で防災士をしている人や、PTA役員の人達などに、こうした地域活動のあり方をみていただける良い機会にもなりました。

学生メンバーは自分達が考案したゲームをしたり、専門性を活かした内容を取り入れるなど、主体的な活動をしていて、今回も大活躍でした！



学生メンバーの実践の場となった『あそぼうさい』。回を重ねるごとに、積極性や主体性が増していく様子を見て、学生の意欲や姿勢に支えられた活動であることを実感しました。幅広い世代、分野の人達が一緒に活動することによって、新たな風が吹き、より良いものになっていくのだと思います。

## 朽網市民センター『あそぼうさい』



- 1 日時 令和4年10月8日(土) 10:00~12:00
- 2 場所 朽網市民センター
- 3 参加者 38人、参加学生10人



### ■実施内容「ブースプログラム」

- |               |        |                         |
|---------------|--------|-------------------------|
| ①地震避難ぶたのしっぽ   | ②災害ダーツ | } MATE 's考案<br>ゲームが3つも! |
| ③8割がた大丈夫だろゲーム | ④防災かるた |                         |
| ⑤環境×災害連想カード   |        |                         |
| ⑥すごろくゲーム      |        |                         |
| ⑦脳トレ災害パズル     |        |                         |

### ■実施内容「全体進行プログラム」



全体進行と、冒頭のアイズブレイク、防災O×クイズを、MATE 'sのメンバーが実施して盛り上げました!

講座のプログラム決めや進行などは大学生に任せ、好きっちゃんメンバーはそれをバックアップする体制で臨みました。

北九大MATE 's、北九大3Club、九国大地域防災リーダー育成PJの学生が大活躍でした!

子ども達は元気いっぱい、スタートのO×ゲームから大はしゃぎ!遊びを通して防災をしてくれるお兄さん、お姉さん達を見て、『自分も大学生になったら、こういう活動をしたい!』と言ってくれた子もいたようです。

『来館者の平均年齢がグッと下がった』との市民センターからの感想もいただきました。こうした活動



を通じて、地域活動の担い手が多世代になっていくと良いですね。



学生の実践の場となった『あそぼうさい』。学生からは、今回交流できたメンバーと新しいゲームを作りたい!作ったゲームをブラッシュアップしていきたい!などの前向きな意見が聞かれました。参加者同士が教えあい、フォローしあいながら交流できるあそぼうさいの魅力、実感できる講座になりました。

## 赤坂市民センター チャレンジキッズ 『あそぼうさい』にチャレンジ



- 1 日時 令和4年10月22日(土) 10:00~12:00
- 2 場所 赤坂市民センター
- 3 参加者 34人 学生14人

赤坂市民センターでの子ども講座で『あそぼうさい』!!参加人数の制限もあり、好きっちゃんメンバーは人数を抑え目に、学生メンバーが大活躍となりました!地域の方々も参加してくださり、とても和やかな子ども講座となりました。子どももお年寄りも、地域の共通課題を見つめて、楽しめます!



アイスブレイクも兼ねたO×ゲームは、メイツによる進行で!慣れてきたところで、ブースごとにあそぼうさい!大雨前線ゴルフは屋内では初めての実施となりました。何度もチャレンジする子ども達!みるみる上手になりました。環境連想カードや、地震パズルなど、学生作成のゲームも大人気!地震のときには、道路に飛び出さずに壁から離れる練習や、伝言ゲームも実施しました。



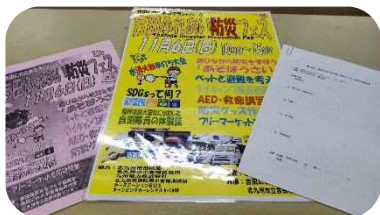
『好きっちゃんアカデミー』の学生メンバーは、あそぼうさいの進行やゲームの運営は、もうお手の物!とても頼もしい存在です。実践を繰り返しながら、ちょっとしたコツや工夫などのノウハウも学び得てきています。また、先輩が後輩を育てていく姿もとても頼もしいです!!

## 吉田ふれあい防災フェス

- 1 日時 令和4年11月6日(日) 10:00~15:00
- 2 場所 にれのき坂フレンドパーク
- 3 参加者 750人 大学生10人



『実行委員会』での企画段階から、『まちづくり専門家派遣事業』として参加させていただき、アドバイスを  
行うこととなりました。しかし、何かを助言するほどもなく、吉田校区の皆さんがしっかりとご準備を進めて  
らっしゃいました。きちんと準備を積み上げていくことや、時点での各地域組織での承認を得ていくことなど  
建設的に進めてらっしゃいました。



お祭りなどが開催できないなか、住民での賑わいを！そして防災のまちづくりを進めるために、住民手作りの  
イベントとなりました。細かなところまで配慮が行き届いており、とても素晴らしいイベントでした。  
好きっちゃんブースは、北九大MATEsの皆さんがあそぼうさいを運営してくださりました。  
参加型で楽しめるあそぼうさいは、子ども達に大人気で、時間帯によっては長蛇の列ができるほどでした。  
また、何度も遊びに来る子や、友達と競いあって楽しんでいる子もいました。  
ブースの見せ方や運営の仕方などの工夫も学生メンバーと一緒に検討しながら進めることができました。



住民自らが発起し企画・運営されたイベントで、とても和やかに楽しく開催されました。こうした地域  
一丸となることは、必ず地域のチカラになっていくと感じました。また、以前に実施した好きっちゃん吉  
田のときの子どもが成長した姿を見せてくれたことは、とっても嬉しかったです。



## 松ヶ江南小学校 家庭教育学級『あそぼうさい』

- 1 日時 令和4年11月11日（金）14：15～15：35
- 2 場所 松ヶ江南小学校 体育館
- 3 参加者 190人 大学生5人



松ヶ江南小学校での家庭教育学級において、授業の中で『あそぼうさい』を実施してほしいとの依頼がありました。平日の開催ということで好きっちゃんメンバーや大学生の参加は少数が見込まれたため、保護者や地域住民のボランティアの皆さんを募集していただくこととなりました。30人もの方々が集まり！何とか実施できました。



この日のあそぼうさいは難題だらけ！！子ども達の数は、なんと100人！時間は全部で80分しかありません。「あそぼうさい」するのは難しくないか・・・。人数の多さに加えて、時間の短さ。。プランとしては、全体プログラムで遊んだ後に、各ブースを自由に遊んでいただいて終了という流れを組んでいましたが、学校からストップがかかりました。自由に遊ぶと子ども達が入り混じるのでグループごとに遊ばしてほしいとのことでした。。えーい！じゃあ『6分ずつ』10個のプログラムを順に回っていくようにしました。各ブースを運営する皆さんが居てこそその作戦でした。学生メンバーやボランティアの皆さんに感謝！



小学生たちはとても礼儀正しく、またみんなが楽しく遊べるように、友達どうし声かけしたり、とても素晴らしかったです。次のブースへ進む前に、『ありがとうございました！』としっかりお礼もしてくれていました。大変だったと思いますが、子ども達の笑顔が見れて、充実した時間となりました。

地域の皆さんが交流するために生み出された「あそぼうさい」。ご協力いただいた皆さんのおかげで、これだけの規模の人数で、短い時間でも楽しく実施できました。地域の皆さんで、想いを傾け合えば、これだけ素晴らしい企画になるんだと改めて感じました。

## 貴船小学校70周年記念PTA事業 肝試し&あそぼうさい

- 1 日時 令和4年11月12日(土) 15:00~20:30
- 2 場所 貴船小学校
- 3 参加者 180人 大学生 13人



小学校設立70周年の節目に、PTA主催での事業を実施したいとのことで、あそぼうさいでのコラボ依頼です。コロナ禍で、各種のイベントや行事が無くなってしまいうなか、子ども達に思い出に残る楽しいものを！と保護者の皆さまが立ち上がりました。生徒数にしてはとても多くの保護者の皆さんが主体的に関わっていて、とても素晴らしい企画と実現でした。打合せ段階から参加させていただき、運営は全てPTAで実施されました。



当初は、夜に肝試しとあそぼうさいを並行して実施する予定でしたが、夜での開催となると、参加できない子どももいるかもしれないとの危惧から、昼はあそぼうさい、夜は肝試しのダブルヘッダーによる開催となりました。多くの子ども達への配慮から倍のエネルギーをかける方を選択したPTAの素晴らしさに感動。

あそぼうさいは、プログラムを提供したのみで、運営は全て保護者の皆さんが実施されました。上手に子ども達をリードしていただき、楽しく実施されていたのが印象的でした。子ども達ものびのびと楽しんでいて、PTA主催事業の良さをとても実感しました。

夜は、お待ちかねの肝試し！好きっちゃんアカデミーの学生メンバーも体験させていただきましたが、まっ！怖い！！(笑)とても完成度の高い肝試しで、子ども達には強烈な思い出になったに違いありません。子ども達のために、何時間も暗がり潜んでいたパパ達に大拍手を送ります！！



「あそぼうさい」はあくまでツールであって、保護者の皆さんの子ども達を思う姿勢と、一致団結した力強さに感激しました。子ども達を真ん中に置いた地域づくりを実感しました。また、こうした企画の実施を通じて、気持ちをひとつに束ねていく姿と一緒に見ることができ、学び多い企画となりました。

## 志井校区『あそぼうさい』

- 1 日時 令和4年11月26日(土) 13:00~15:00
- 2 場所 志井小学校 体育館
- 3 参加者 90人 (参加学生14人)



昨年度も、コロナ禍でも校区みんなで「あそぼうさい」を楽しんだ志井校区です。今回は、市民センターの全部屋を活用しての実施でしたが、今回は、大勢が参加されることを見込んで、小学校の体育館で実施しました。

「やるKIDSクラブ」の子ども達やその保護者の皆さん、生涯学習クラブの皆さん、そしてまち協をはじめとした地域の皆さんなど、老若男女、校区の様々な方が参加してくださり、楽しく実施することができました。

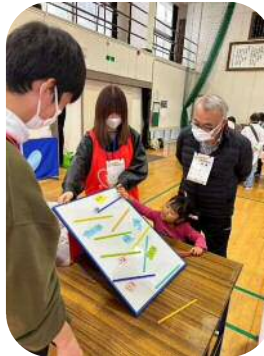
メインの進行を務めたのは、北九大MATE'sの学生の皆さん！オリジナルのゲームを開発して、実施していただきました。また、ソフトバンクのPepperくんとのコラボは、ソフト開発から携わり、工夫を凝らした最先端技術でのゲームに、子どもたちも興味津々！会場の皆さんも、企画・準備に携わった学生たちもとても学習・成長できる講座となったと思います。子どもを真ん中にして、地域の皆さんで、チームになって、それぞれのゲームを楽しんでいただきました。時間が足りなくなるほどの盛り上がりでした！



共助でポイ活



地図パズル



ピタゴラスイッチ



防災グッズかるた



校区みんなで集合写真～♪



高血圧予防



災害豚のしっぽ



防災グッズ暗記ゲーム



災害ダーツ

昨年度のあそぼうさいから、さらにバージョンアップしたイベントとなりました。学生たちの準備もさることながら、市民センターの皆さんを中心に、しっかりと企画・準備がされていました。こうして、地域住民がみんなで楽しめる企画で地域愛を育てていけたら良いですね。

## 東朽網学童保育クラブ『あそぼうさい』



- 1 日時 令和4年12月23日（金）14：00～15：30
- 2 場所 東朽網市民センター
- 3 参加者 46人、参加学生1人



東朽網学童保育クラブの依頼で、あそぼうさいを実施しました。

当初、小学校の体育館で行う予定でしたが、寒波と雪の影響もあり、寒い体育館ではなく市民センターのホールで行うことになりました。

小学校低学年の子ども達を中心に40人弱。市民センターのホールでは会場が狭いこと、指導者になる大人が少ないことから、今回はブースを設けず、全体進行プログラムのみで実施することにしました。



【季節と災害】【このまちの災害】について質問し、地震や津波、火事のように季節を問わず起こるものや、大雨や台風、竜巻など、季節によって起こりやすい災害があることを学んでもらいました。

【災害じゃんけん】では、遅出しじゃんけんで負ける難しさを実感してもらい、遊びながら災害への心の持ちようを感じてもらいました。

【8割がた大丈夫だろうゲーム】は、いつか災害が起きてしまうことを実感するゲームです。赤が出るか緑が出るか、ドキドキで大盛り上がりでした！



【〇×クイズ】では、地域にある「昭和池」など、子ども達にも馴染みのあるものを題材にすることで、興味を持ってもらう工夫をしました。

【並び替えゲーム】では、防災訓練をかねて点呼の訓練をしました。低学年の子ども達には少し難しかったようですが、声をかけ合って頑張りました。

【防災グッズ暗記ゲーム】では、4人ずつのチームに分かれて協力し合いながら、覚えた防災グッズを書き出します。大人や他の班の子ども達にも手伝ってもらいながら、みんなで思い出しました。



クロージングでは子ども達から感想を聞きました。

「防災グッズを家族に教えたい」「災害の時はみんなで助け合い、支え合うことが大事だと思った」など、楽しく遊びながらとても大事な気持ちを育ててくれたようです。

全体進行プログラムだけの『あそぼうさい』。新たなチャレンジでしたが、一体感もあって盛り上がり、あそぼうさいの多様さを実感することができました。こうして様々な形で展開することで、「自分達でもできそう」「やってみよう」と思う人が増え、あそぼうさいが広がっていくと嬉しいです。

## 徳力児童館『あそぼうさい』

- 1 日時 令和4年12月28日（水）10：00～12：00
- 2 場所 徳力児童館
- 3 参加者 66人（参加学生16人）



令和3年度に続き、『あそぼうさい』を実施することとした徳力児童館。学童保育と児童館の機能が合わさった施設です。前回のあそぼうさいでの学びの繋がりで、指導員の先生たちが「自主的に遊び・ゲームを造る！」というテーマとしていただきました。事前に、他の児童館の先生がたや北九大MATE'sのメンバーとともに3度の作戦会議を実施して、それぞれゲームを造って持ってきていただきました！



先生がたが造ったのは、空気入れを使った消火器ゲーム。しっかりとノズルを向けることが大切です。そして避難グッズ釣り。災害テーマに応じて避難リュックに入れたい中身を釣り上げます。でも重さもある！？工夫が凝らされていました。大学生たちが造ってくれたのは、津波の威力を知るビー玉転がしです。自然の猛威を少しは感じる事ができたかな？好きっちゃで造ったのは、ダイバーシティかるた。ピクトグラムといわれる様々なマークがあり、その意味をかるた方式で読み上げて先を取ることを競います。



空気入れ消火器



避難グッズ釣り



津波の威力実感遊び



ダイバーシティかるた

2度の巨過市場の火災の悔しさから、天ぷら油の消火方法を体験する遊びを考えました。天ぷら油には、濡れたタオルを覆いかぶせて窒息消火が効果的です。この体験をしていただくのに、ゲーム性を持たせます。まず輪投げで遊んで、同じ要領でタオルで実践します。最後に「あみだくじ」で状況に適した消火法を学びました。



「あそぼうさい」は、誰でも、どこでも実施できる遊びであり、学びです。創意工夫して、子ども達が学びながら遊ぶ場を造っていきます。児童館の先生かたとのコラボにより、子ども達が好きそうなポイントや、年齢に応じた取組みの度合いなどを教えていただき、とても刺激になりました。

## 守恒本町子ども会『あそぼうさい』



- 1 日時 令和5年2月25日(土) 10:00~12:00
- 2 場所 守恒本町集会所
- 3 参加者 26人、参加学生2人



いつもは市民センターや学校、学童保育クラブなど、公的機関での実施が多い「あそぼうさい」ですが、今回は町内会からの依頼で実施しました。

会場は地域の集会所、そして親子での参加も多く、とてもアットホームな雰囲気で行われました。

会場が狭いこと、運営側の人数が少ないことから、進行は前後半に分けて、ブースを入れ替える形で行いました。後半、運営スタッフのいなくなったブースでは、子どもが店番をしてゲームを楽しむ一幕も見られました。初めて体験した子どもでも、すぐに実施する側になることができるのも、あそぼうさいの魅力の一つです。

今回、北九大3Clubと産医大SDGs研究会の学生が大活躍でした！「ダイバーシティかるた」については、専門性を活かして安全衛生バージョンを作りたい！という声も聞かれました。学生の主体的な関わりが頼もしく、更なる活躍が楽しみです。



### ■実施内容「ブースプログラム」

- ①ダイバーシティかるた ②浮き輪で魔法結び
- ③ダイソーグッズかるた ④災害ふたのしっぽ
- ⑤緊急速報ハンドベル ⑥大雨前線ゴルフパット
- ⑦トランシーバーで伝達せよ

### ■実施内容「全体進行プログラム」

オープニングではアイスブレイクを兼ねて、「災害じゃんけん」と「8割がた大丈夫だろうゲーム」を行い、災害に対する心の持ちようを体感してもらいました。

ブースで遊んだ後は、「防災グッズ暗記ゲーム」で備蓄品の確認をしました。



『あそぼうさい』が、地域の多世代交流のツールとなること、会場や対象など、規模に応じて変幻自在に運営できることが実感できる回となりました。地域の人たちが集まる場を作り、人と人とが繋がっていくための機会として、今後もこうした取り組みを続けていけると良いなと思います。

# 令和4年度 男女共同参画地域フォーラム 防災を地域みんなで～災害時に必要なこと～



- 1 日時 令和4年7月28日（木）10：00～11：30
- 2 場所 東朽網市民センター
- 3 参加者 50人

昨年度の門司区での2ブロックに続き、小倉南区女性団体連絡会議の主催する地域フォーラムにお呼びいただきました。地域での防災と男女共同参画との繋がりについてお話をさせていただきました。



会場となった東朽網校区では、2度の『ぼくのまち、わたしのまちを紹介します』事業や、あそぼうさいなどを実施してきました。参加者の中にも当時の関係者も多く、懐かしい写真とともに振り返りました。災害対応や防災において、性別による役割の違いなどはあってはならないものですが、性差を差別とはせず、それぞれの特技を活かし合えると良いのだろうというお話をしました。特に、災害が起こる前の、地域住民どうして声を掛け合うことで助かる命があること。ここに地域防災の根幹があることをお伝えしました。

<p><b>NPO法人 好きっちゃん</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●郷土愛の育み「このまちとともに」</li> <li>●地域づくりの支援</li> <li>●コミュニティの活性化</li> </ul>	<p><b>男女共同参画の視点から</b></p>	<p><b>事前の「防災」と「災害」の対応</b></p>	<p><b>どうしたら避難しようと思う？</b></p> <p>広島でヒントを聞いてきました！</p> <p><b>避難のきっかけは・・・</b> <b>「ご近所の声かけ！！」</b></p> <p>広島市防災士ネットワーク 藤田氏 安佐北区大津字区の自治会長さん</p> <p>避難を決意するのは 家族や近所からのススメ 途中で帰られるながらも1とし 上下消火機10軒→死者0人</p>
<p><b>機能する連絡網の例</b></p>	<p><b>体験！みんなde Bousai 伝言ゲーム</b></p> <p>情報をもたらした人は、立ってください。 何人もの人に伝達してください！ 全員立ち上がったら、完了です。</p> <p>【セリフ】 <b>避難指示が出ましたよ！</b></p>	<p><b>『〇〇さん』+ あいさつ+『もう一言』</b></p>	<p><b>暮らしの中にある季節の移ろい</b></p>

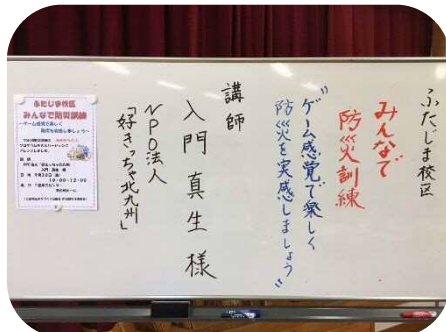
そうした地域の中でのコミュニティは一朝一夕にはならず、まずは『あいさつ+もう一言』での会話など、日頃から気軽に声を掛け合える関係づくりが必要です。最後に、『伝言ゲーム』を皆さんで体験していただき、声を掛け合える人が、どう集団化していくのかを実感していただきました。

災害対応は『男性色』が強い印象が多いかもしれませんが、でも防災の本質は、声を掛け合える地域づくりであり、女性もその多くの部分でのキーパーソンだと思います。

## 二島校区 みんなで防災訓練 ～大人の『あそぼうさい』～



- 1 日時 令和4年9月30日(金) 10:00~12:00
- 2 場所 二島市民センター
- 3 参加者 32人



Bousai会議などで、防災まちづくりを進めてきた二島校区です。毎年防災訓練を実施しているものの、講義を中心とした取組みはちょっと飽きて・・・というご要望をいただき、いつもは子ども向けに実施している『あそぼうさい』を講義形式とミックスした『大人向け』で実施してみました！

ひとつひとつ、理屈や意義などを全員で確認しながら進め、楽しく実施できました！



子どもにも人気の、『8割がた大丈夫だろうゲーム』と、『災害ダーツ』で、災害への向き合い方は、心の持ちようだということを確認しました。その後、『トランプ町内会の連絡網』で、迅速に連絡を伝えるネットワークを考えました！



では、実際に連絡網を回すのはどんな感じになるのかやってみました！みんなで協力して伝達すれば、アツと言う間に伝わることを実感しました。断層のあるこのまち、『トイレトペーパー』でメカニズムを理解した後、『防災グッズ暗記ゲーム』で我が家にある？で無い？グッズを確認しました！

大人向けのあそぼうさいでは、先にネタばらしをして、その後に遊んでみるという形式をとりました。遊びの意図が防災に繋がっていることを認識できると、より一層の意味合いを感じるものとなりました。みなさん真剣に、自分の地域を思い、楽しくあそぼうさいに取り組んでくださいました。



# 白野江市民センター生涯学習講座 『避難はいつする？備蓄ってなあ～に』



- 1 日時 令和5年2月18日（土）10：00～12：00
- 2 場所 白野江市民センター
- 3 参加者 31人

令和3年度の、男女共同参画推進フォーラムや、HUGの開催に続き、門司区白野江での防災まちづくり講座。予定していた人数よりも、多くの方が、次々にご来場いただく様子に、以前の講座のリピーターや口コミも多いのでは？ということでした。

今回も、『防災』をテーマにした講座ですが、堅苦しくなく、楽しく実施していきました。



海あり、山ありの白野江校区において、自分のまちを見つめ、課題を認識するところから始めました。最初に普段は語ることのない『このまちの好きなところ』から話題にいただき、自然と共存するこのまちで、万が一のときの行動について話していきました。

地域コミュニティのなかでの、声掛けで助かる命をあることを皆さんで確認しました。

<b>今日の話題</b> 『このまちとともに』防災まちづくり講座 【1】このまちを見つめる 【2】このまちの防災 【3】避難って？ 【4】似て非なるもの 【5】防災で遊ぼう！？	<b>白野江の風水害の特徴</b> 大雨⇒土砂災害 台風⇒土砂災害+高潮 Q：避難の必要性のある場所ときっかけ Q：高潮の規模（台風の勢力・コース・潮位） Q：避難先と移動手段	<b>話し合しましょう！</b> このまちの災害の『不安』 海・山・川・水の流れ・地震・・・	<b>似て、非なるもの</b> 災害用・防災の～ 非常持出品      備蓄	このまちの中で、 安心して暮らすため、 このまちを見つめ、 地域コミュニティを深め、 『いつも』の中で備えましょう！
------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------	----------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------

後半では、いざ災害時に必要な『物』について考えていきました。似て非なる『非常持出品』『備蓄』について、ゆっくり解説しながら、移動先や避難期間、対象災害に依じての違いを確認しました。

みんなで、『楽しく防災を学びたい！』というオーダーに応え、大人版『あそぼうさい』を実施してみました！「昔、婦人会でハンドベルしたことあるの！」というお姉さま達の意気込みのとおり、該当の音を見つけるのが早かったです！いつもは子ども達を対象としたあそぼうさいですが、楽しく実施していただきました。



緊急速報ハンドベル



ダイバーシティかるた



トイレトペーパー地震メカニズム



100均防災グッズ

防災まちづくりにおいては、『一緒に見つめる』ことが何よりも最初の一步だと思います。同じまちに住む皆さんで、地域共通の課題を見つめ、話し合いを始めること。会話をしていくうちに、何らかの答えや、同じ悩みや課題を共有していることを感じます。楽しく実施していくことも大切です！

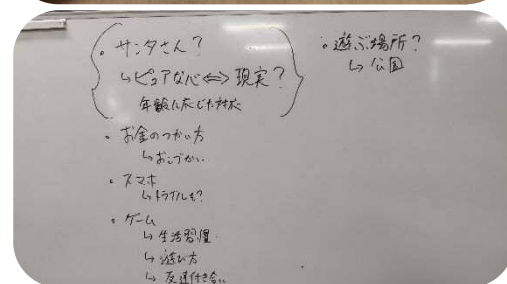
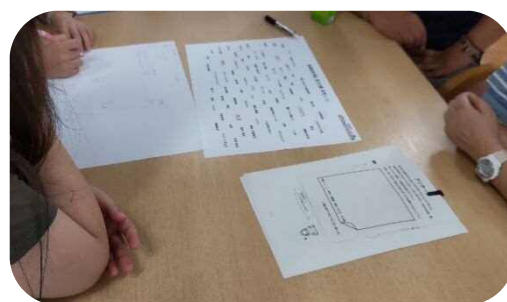
## 広徳小学校 家庭教育学級



- 1 日時 令和4年6月23日(木) 10:00~11:30
- 2 場所 広徳小学校
- 3 参加者 30人

任意加入問題で渦中のPTA活動の、根幹的な活動である『家庭教育学級』。

広徳小学校での開級式を担当させていただきました。校長先生の講話の後に、『学びの種』を見つけるワークショップを展開しました。



今回、初めて試みてみたことは、以下の『学びの種シート』の活用です。(オリジナル!)

家庭教育学級で最も大切なことは、子育てなど同世代で暮らし方や悩みを共感・共有するなかで、『学びたいもの』や『話し合いたいテーマ』を見つけていく、最初の部分が重要です。その最初の話題づくりのサポートとして、以下のシートを活用しました。

家庭教育学級 学びの種・参考シート					
思春期	しつけ	褒め方・叱り方	学校・先生との連絡連携	郷土愛	地域特性
成長期	言葉づかい	遊び	恋愛	PTA	このまの今昔
性教育	スポーツ	動画	友達関係	つながり	孤立
心の成長	習いごと	ゲーム依存	ネットトラブル	親どうしの関わり	情報化社会
マナー・モラル	進学・受験	ジェンダー	SNS	居場所	人権
食事マナー	栄養	曲離き・曲並び	ファッション	地域行事・イベント	ボランティア
朝ごはん	料理	お手伝い	お小遣い	不登校	ご近所付き合い
食品選び	お弁当づくり	生活リズム	スマホ	カラー	騒音・振動
買い物	時短術	留守番	宿題	お出かけ	レジャー
名もなき家事	家事	イクメン・カジダン	就寝時間	生活	事件・防犯
片付け	ワークライフバランス	家計管理	教育費	趣味	自然
掃除	夫婦の協働	働き方	音楽	マンガ	平和学習
					災害・防災
					ペット・いきもの
					環境教育

皆さん、興味関心ごとは、やはり似たようなところであって、子ども達とゲームやSNSとの関わり方や、お金に関すること、勉強に関する事、友達付き合いなど、このシートをもとに様々、盛り上がる話題が出てきました。ワールドカフェ形式で、皆さんの意見交換を重ねていき、最後に、『次回学びたいこと』を話し合いました。とあるお母さんのコメント・・・『サンタさんって信じてます!?』これが次回の話題に決定しました。とても楽しみです。

家庭教育学級は、保護者どうし共通項が多いなかで、共感し合い、深め合っていく活動で、社会教育活動の原点であり、PTA活動のとても重要な魂の部分だと思います。同じ話題で盛り上がったり、これまで接点のなかった保護者どうしが繋がるきっかけにもなりました。とても素晴らしい家庭教育学級でした

## 広徳小学校 家庭教育学級



- 1 日時 令和4年12月8日(木) 10:00~11:30
- 2 場所 広徳小学校
- 3 参加者 23人

6月に続く、広徳小学校での家庭教育学級。とても楽しみな会でした！

今回は、『話題シート』を活用して、保護者どうし話したい話題を考えました。あるお母さんの発言で『お子さんは、サンタのことを信じていますか？』『現実をいつ教えたら良いんだろう？』との素朴かつどの家庭でもあるような悩みの種から、みんなで考えてみましょう！ということになりました。

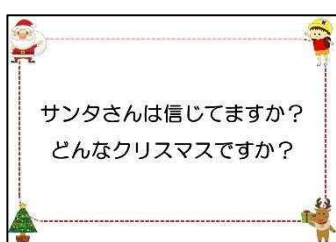
年末で、平日の午前中という事もあり、参加者は少なかったですが、楽しみにしていただいている保護者も多かったです。



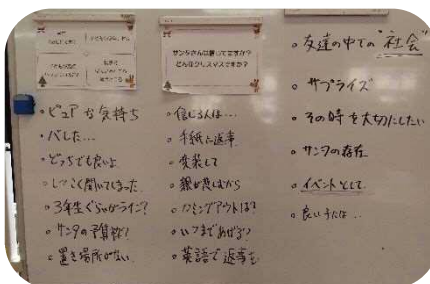
名前 (あだ名でも)	子どもの学年、性別
子どもが最近ハマっていること	親子で似ているところ 違うところ

自己紹介を兼ねたアイスブレイクの話題も、子育てのこと、親子関係のことを話題にしました。

どのテーブルでも盛り上がり、今日の本題には入らなくても良いのでは？と思うほどでした。



では、本題の、クリスマスの過ごし方、プレゼントやサンタさんとの関係についてまずは各テーブルで話し合ってくださいました。サンタさんの登場の仕方は家庭によって千差万別で、皆さんの家庭の様子を聴くだけでもとても面白かったです。年齢に応じた親子の接し方や、ちょっと先輩からのアドバイスなど、子育てに関するノウハウがびっしり詰まっているように感じました。また、子どもの成長に合わせた、その時その時を大切に過ごしていきたいという意見にじんとききました。



家庭教育学級は、日常や子育て・家庭でのささいなことを話題にあげ、そのおしゃべりの中から得られる学びがとても大切だったりします。誰しもが先生にも生徒にもなる存在だと思います。同じ子育て奮闘中の皆さんで、子育ての喜びを噛みしめることができる心温まる講座となりました。

# 赤崎市民センター『未来の種事業』 第2回 なつやすみ☆キッズ防災アカデミー



- 1 日時 令和4年8月10日(水) 10:00~12:00
- 2 場所 赤崎市民センター
- 3 参加者 29人、参加学生10人

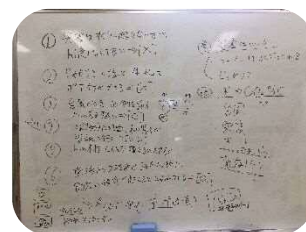


「なつやすみ☆キッズ防災アカデミー」、第2回目のテーマは「たのしくチャレンジ“えらぼうさい”」です。初回の“あそぼうさい”では、子ども達は与えられたゲームを楽しむ側でしたが、最終的には自分達が考えたゲームなどを通して、地域の人達に防災を伝える側になってもらいます。

今回、北九大3Clubのメンバーが、子ども達が興味を持つような3つの見本を見せてくれました。

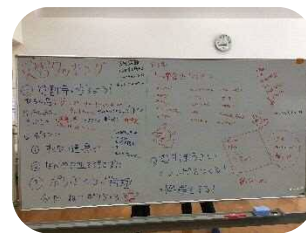
- ① O×クイズ：問題に正解すると次の問題に進める仕掛けになっています。
- ② 防災クッキング：水で作ったインスタントラーメンの試食もありました。
- ③ 劇：前回のあそぼうさいのふりかえりにもなるような内容を盛り込んでいました。

子ども達はそれぞれが希望するチームに入って、次回に向けての作戦会議を行います。どのチームも子ども達が積極的に意見を出し、夢中になって考えていました！



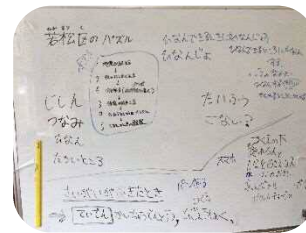
### 【クイズチーム】

会場になる和室で作戦会議！最終問題の先に待っているのは何かな？



### 【料理チーム】

非常時だけでなく、普段から食べたいメニューがたくさん浮かんでくる！



### 【劇チーム】

パソコンも使いこなす姿に大人は感心。みんなに伝わる劇を作ろう！

今回も大学生が大活躍でした！どのチームでも子ども達の意見を上手に引き出し、たくさんのアイデアが出ていました。子ども達がやりたいことを考え、自分達でつくっていく、「これぞ子ども講座！」という子ども講座になったと思います。次回はそれぞれどのような表現になるのか、とても楽しみです。

# 赤崎市民センター『未来の種事業』 第3回 なつやすみ☆キッズ防災アカデミー



- 1 日時 令和4年8月24日(水) 10:00~12:00
- 2 場所 赤崎市民センター
- 3 参加者 29人、参加学生6人



『未来の種事業』の締めくくりは、「やりたい! きもちを“むすぼうさい”」です。これまでの学びを結びつけ、地域の人達が結びついていくイメージです。前回の作戦会議を受けて北九大3Clubのメンバーが下準備をしてくれ、発表に向けて子ども達は最終準備に取り掛かりました。いよいよ学びの成果を地域の人達と他のチームのメンバーにお披露目です!

【クイズチーム】○×クイズに答えて順番に進み、最終問題を答えてふすまを開けると…正解の部屋には子ども達が作った折り紙のプレゼントが。不正解の部屋では驚かそうと子どもが待ち構えていて、大盛り上がり! 楽しんでもらえる工夫をたくさん考えました。



【料理チーム】みんなに配るレシピを手書きして用意しながら、作り方の手順を覚えます。カセットコンロとポリ袋を使って、親子丼とツナトマトカレーと白ごはんを作りました。一所懸命作ったごはんをお昼にみんなで試食した感想は? もちろん、おいしい!!

【劇チーム】懐中電灯とペットボトルを使って即席ランタンができることなど、災害時に役立つ情報を劇の中に上手に盛り込んでいました。演じた子どもからは、「教えてもらったことをみんなに教えられたのが嬉しかった」という嬉しい感想が聞けました!



< 延長戦: まとめて発信! 防災コンプリート >  
市民センター主導で、夏休みの思い出として3回の未来の種事業のレポート作りをしました。子ども達は学生メンバーと楽しく思い出話をしながら、それぞれにステキな作品を作っていました。

今回、子ども達には学んだことを他の人達に伝えたり表現したりする「教える立場」になってもらいました。学んだことを人に教えることの喜びを感じてくれた子どももいたようです。防災や環境への対策、まちづくりは、こうした一人一人の想いや姿勢から進んでいくものだと実感できる講座になりました。

# 八幡西区ボランティア連絡協議会 ～あなたにもできる身近なSDGs～



- 1 日時 令和4年11月15日(火) 14:00～15:30
- 2 場所 コムシティ
- 3 参加者 24人

八幡西区社会福祉協議会が事務局となっているボランティア連絡協議会から『SDGs』についての講座を実施してほしいとの依頼がありました。令和4年度から、『未来ディスカッション事業』として、SDGsを含めた未来を意識して考えていく社会づくりの取組みにも注力してきていますが、SDGsをメインとした講座の実施は初めてとなりました。



SDGsとは、未来を意識することで、全ての事柄だと思っています。過去や未来をおしゃべりで語らいながら、その時間軸の中で喜びや楽しみが待っていたりします。次の未来を意識していくことがSDGsに繋がります。知ってそうで知らないSDGsの豆知識も4項目お話していきました。社会の一員であるぼくたち一人ずつが未来を意識した生活をしていくことが、これからの社会をつくっていくこととなりますよね。

 <p>R4.11.15 @コムシティ 八幡西区ボランティア連絡協議会 令和4年第3回ボランティア講座</p> <p><b>あなたにもできる身近なSDGs</b></p>  <p>理事長 入門 真生</p>	<p><b>今日の話題</b></p> <p>～SDGsについて～</p> <p>SDGsって何だか難しい？ SDGsって分かっているようで分からない？</p> <p>身近に感じることで実践者に！</p> <p><b>楽しく！おしゃべりしながら進みましょう！</b></p>	<p><b>SDGsって何だろう？</b></p> <p>S：サステナブル 持続可能な・・・</p> <p>D：デベロップメント 開発・成長</p> <p>Gs：ゴールズ 目標 (たち)</p> 	<p><b>【アイスブレイク】</b></p> <p>最近あった『面白かったこと』『楽しかったこと』お話ししましょう！！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●最近1週間のこと</li> <li>●ここ1年間のこと</li> </ul>
<p><b>SDGsって何だろう？</b></p> <p>ぼくなり言葉で言い変えると・・・</p> <p>SDGsとは… <b>全て！</b></p> <p>SDGsとは… <b>未来を意識すること</b></p>	<p><b>【SDGs実感ワークショップ】</b></p> <p>これから『楽しみにしていること』お話ししましょう！！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●今年いっぱいのこと</li> <li>●これから1年間のこと</li> </ul>	<p><b>暮らしの中にある季節の移ろい</b></p> 	<p><b>SDGsの豆知識☆</b></p> <p>①実は、ゴールは17だけじゃない！？</p> 
<p><b>SDGsの豆知識☆</b></p> <p>②実は、SDGsは2代目！？</p> <p><b>MDGs</b></p> 	<p><b>SDGsの豆知識☆</b></p> <p>③実は、並び方には理由があった！？</p> <p>これも間違いです！ どう違うでしょう？</p> 		<p><b>自分ごととして考えてみましょう！</b></p> <p>People 人間 Planet 地球 Partnership パートナーシップ Peace 平和 Prosperity 豊かさ</p> 

SDGsは、それをただの概念とせず、『自分事』と思えることが大切だと思います。学問的な学びにせず、おしゃべりの中から、自分たちが時間軸の未来づくりの一員だということを実感した講座となりました。

# 語り合おう！学び合おう！ 北九州のパブリックヒストリー



- 1 日時 令和4年11月26日（土）14：00～16：30
- 2 場所 まなびとESDステーション
- 3 参加者 41人

北九州ESD協議会が主催する『平和』に関するイベントが開催されました。

ゲストスピーカーは早乙女愛さん。お父さまが東京大空襲に遭い、戦後、戦争の現実を広報されておられたそうです。お父さまの遺志を継ぎ、平和の願いを各地でお話されています。もうお一人は、今年度オープンした『平和のまちミュージアム』の重信館長さん。北九州市立大学の歴史学の教授も歴任され、『パブリックヒストリー』について教えてくださいました。



歴史は、専門家が専門書物の中から、これが最も正しいだろうと決めていくものではなく、市民の、大衆の感じた、語り継いでいった物語であるというお話が印象的でした。

戦争の記憶については、どんどんと薄れていっていくなかで、教科書や専門書による物語にせず、市民自身がどう受け継いで、次の歴史を紡いでいくのかが重要だと感じました。

後半は、トークセッションを行い、ファシリテーターを務めさせていただきました。

原賀いずみさんと渡辺館長も登壇され、それぞれの平和への願いを込めた活動についてお話いただきました。

会場の参加者からもそれぞれの取組みや、感じてきたこと、伝えていきたいことについて話していただき、それぞれの言葉や刺激が共鳴し合うイベントとなりました。



もうすぐ戦後80年。当時のことをリアルに語り継いでいただけるにはタイムリミットが近づいてきているのは事実です。悲惨な戦禍の中心都市となった北九州において、決して歴史は繰り返してはならぬという未来への願いを、市民として、まちとして、社会として繋いでいけたらと思います。

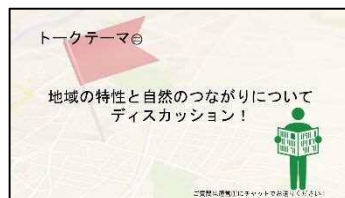
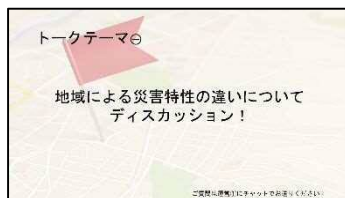
# 北九州市立大学 ESDプロモート ESDツキイチの集い 全国 ツツウラウラ!? 地域防災トーク ～あなたの地域と自然との共存について考えよう～



- 1 日時 令和5年1月21日(土) 14:00～16:30
- 2 場所 まなびとESDステーション
- 3 参加者 55人

北九州ESD協議会のサブコーディネーターであり、北九州市立大学地域創生学群の授業の一環でもある『ESDプロモート実習』。毎月、何らかのESDによる学びの企画を行っており、1月度の講座について、企画段階から一緒に組み上げていきました。

コロナ禍や、インフルエンザなどの流行期でも実施できる方法で、オンラインの形式をとることに。自然との共存・共生を感じることを目標に考えていきました。そこで、全国津々浦々の様々な方にご参加いただき、それぞれの感覚や関係、経験の違いを鏡写しにすることで見えてくるものがあるのでは!? という、挑戦! の企画です。



全国から初めて知り合う人が参加していただく、オンライン形式の企画です。

その運営方法が難しいだけでなく、各グループでのファシリテーションなど、進行技術が問われます。

何度も行った打合せだけでなく、ファシリテーションや板書のこと、防災や自然との共生についても、事前に勉強会を行いました。

そして、肝心の! 参加者集めは、全国の知人・友人をたどって声をかけたり、各種SNSやHPを検索して、興味関心が合いそうな団体等にアプローチしていったそうです!



学生たちが作成したスライドで、ESDについてのことや、今回の企画趣旨について、端的に分かりやすく解説していただきました。グループに分かれて、3回のクロストークを行いました。全国各地の人たちと話してみると自然との共存の仕方はそれぞれであったり、一方で共通する大切な部分が多くみられました。例えば、伝統や風土のこと、そして地域コミュニティのこと。これからも大切にしていかなければならないものを感じました。

とても大がかりなオンライン講座で、各グループファシリテーターが、違う場所から参加し、ウェブ上で議事を共有するという、とてもテクニカルな実施方法でした。学生たちの若い感性やスキルに触れながらお互いの能力を融合させ、さらに向上できる活動となりました!

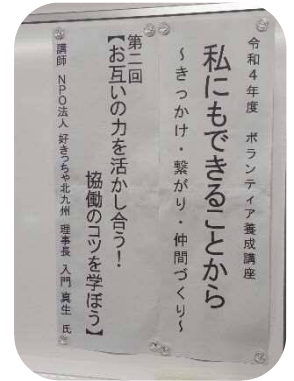


# 八幡西区 生涯学習ボランティア養成講座 『ボランティア・協働について』



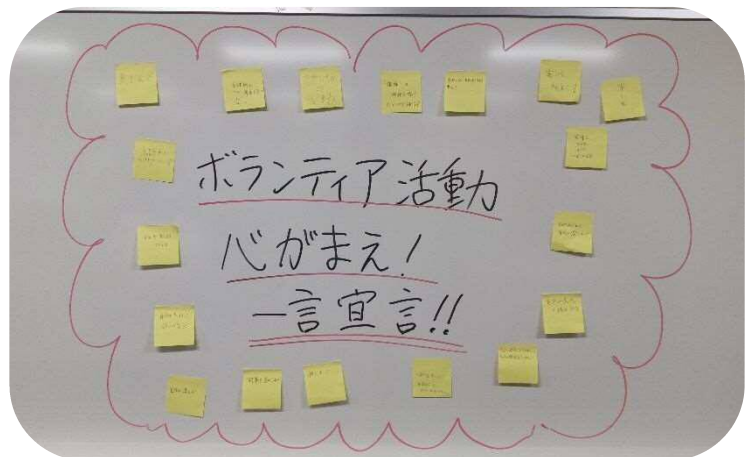
- 1 日時 令和4年9月13日（火）10:00~12:00
- 2 場所 八幡西区生涯学習センター
- 3 参加者 26人

これからボランティア活動を始めたい！という方を対象とした『ボランティア活動への心構え』をテーマとする講座依頼でした。第1回目の大学准教授の回が台風により中止になったため、急遽、基礎的な部分から担当することになりました。



ボランティア活動においては、活動者それぞれが、目的をもって、自主的・主体的に取り組むことこそが重要ということを最初に示させていただきました。その上で、関わり方のちょっとした違いから、やりにくくなったり、面白くなったり、良い事例・悪い事例を紹介していきました。

今日の話題・テーマ	ボランティアの良い？悪い？	協働へのコツ・・・5箇条！	ボランティアとは…
ボランティア活動について考える ●ボランティア活動のポイントについて ●『協働』について	『ボランティア』は内容・形態も様々… どんなボランティアが良いのか？ ちょっとした違いで悪くなってしまうのか？ 考えていきましょう！	①巻き込むのは、お早め！ ②課題を真ん中に置こう！ ③主従の関係にならないよう言動に気を付けよう！ ④協働者の目的に合わせた感謝を伝えよう！ ⑤最高の誉め言葉「大変だったけど楽しかった」	目的をもって 自主的・主体的な活動 『協働』も全く同じ



ボランティア活動の関わりでの基本を抑えた後に、もう一步踏み込んで『協働』について考えてみました。関わり合う人が主体的に取り組むというそのものは、全く同じ構図であること。更に意識を高めて、協働の関係づくりを進めていけると、とても大きな成果・効果・活力が生まれてくるものと思います。

ボランティア活動の多くは、『想い』を大切な資源としています。関わるそれぞれが気持ちや想いを傾けられるように、大切に向き合っていきたいですね。

# 市民活動者による自主企画事業 北九州・NPOボランティアフォーラム



- 1 日時 令和4年10月1日(土) 15:00~17:00
- 2 場所 ココクル平野(わくわーく)
- 3 参加者 33人

コロナ禍でも！北九州での市民活動を盛り上げていくんだ！と有志の皆さんが立ち上がり、手作り・自主的な講座を実施しました。好きっちゃんも主催団体の一員です！

第1回目『秋』では、市民活動に必要な事とは何か？という問いで、13種類のテーマを貼り出し、シールを貼って行く方式で、『見える化』を図っていきました。その後、各テーブルでディスカッションしていただきました。



助成・寄付、人材育成、交流・ネットワーク、情報提供、政策提言、伴走支援などに、多くの票が集まりそれぞれのニーズを感じるとともに、共通する話題が多いことにも気がきました。

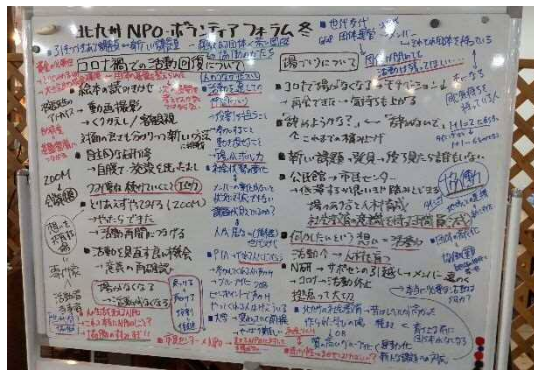
経験豊富や先輩がたや、頑張っている隣のNPOから刺激を受け、多くのことを学ぶことを実感しました。参加者の多くから、こうした悩み相談の場、情報交換の場があることが有用だとの意見があり、北九州の活性化や、市民に対する社会貢献活動など、広義の意味での同じ目的意識を感じたので、今後ともこうした機会を重ねていきたいと感じました。

- 1 日時 令和4年12月10日(土) 18:00~20:00
- 2 場所 ココクル平野(わくわーく)
- 3 参加者 27人

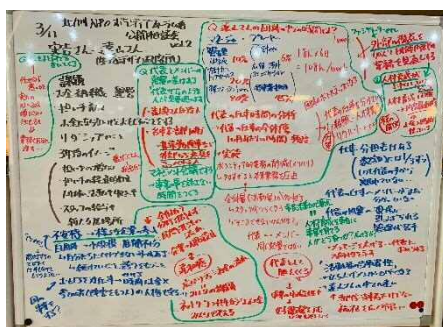
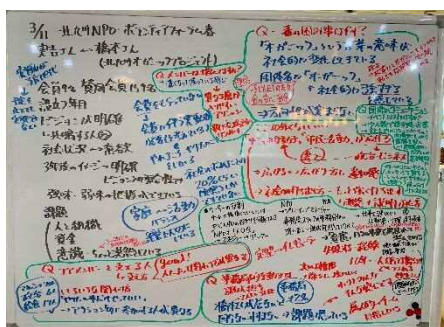


第2回目となる『冬』は、各団体のニーズや課題が全体として表面化した前回から、さらにステップアップ！を目指します。各団体の“紆余曲折”の歴史をグラフ化していただき、どんな変曲点があったのかを、それぞれ可視化していただきました。

企画の狙いとしては、それぞれの変曲点にあたり、助成金などのお金を得る機会があったとか、人材としての変化点があったとか行政や他団体との協働がきっかけになったなど、歴史を振り返ることで、これからの活動に応用していけることを実感しました。各団体それぞれの『良い振り返り』にもなったと感じました。これまでの流れや、現在の位置、これからどう進んでいきたいかなど、立ち返る機会にもなったことは、人や想いを重要な資源にしている市民活動にとっては大切なことだと感じました。



- 1 日時 令和5年3月11日（土）15：00～17：20
- 2 場所 ココクル平野（わくわーく）
- 3 参加者 31人



**速報！**  
つながり・つなぐと、つなぐ道場に出発する！！

**北九州 NPO・ボランティアフォーラム・春**

**2023年 公開NPO相談！**  
相談にのってくれるひと 実吉威さん  
3月11日（土） 15:00～17:20

相談するひと ① 熊本県赤十字さん ② 通称居子さん

●会場：ココクル平野 ●定員：先着30名  
●参加費：無料、フードリンク ご協力のおかげ입니다。  
●申し込み：申込書、申込書、申込書

第3回目となる『春』は、団体運営のノウハウを学ぶべく、公益財団法人ひょうごコミュニティ財団の代表理事実吉威さんにオンラインでご登壇いただき、北九州市内の2つの団体の「公開悩み相談会」を行いました。百戦錬磨の実吉さんからご講義をいただいた後、それぞれの団体の参考シートをもとに、潜む課題やこれからの方向性について、皆さんで考え、見つめていきました。実吉さんは、それぞれの要点を捉え、優しく柔らかく様々なご質問をされながら、課題が表面化していく様がとても印象的でした。組織のマネジメントとプレイヤーを分けていくことや、団体内での共感やモチベーションを上げていくことの大切さをお話いただき、とても刺激をいただきました。



「好きっちゃ」を含めた、市民活動者たち自身による、自主的な企画・運営でした。他のNPO・ボランティア団体の課題や悩みを共有して、ともに進んでいくことができる勢いを感じる3回でした。今後とも、主催団体の皆さんと連携して、進めていきたいと考えています。

どの市民活動においても、運営には様々な悩みがつきものですが、お互いに共有して、共に進んでいけたら良いなと思います。競争も大切ですが、『共創』で社会づくり・まちづくりを進めていきたいです。

# 両谷市民センター生涯学習市民講座 ～このまちの暮らしの中での防災講座～



- 1 日時 令和4年5月18日(水) 10:00~11:30
- 2 場所 両谷市民センター
- 3 参加者 延べ40人(第1回・第2回講座)

みんなde Bousaiまちづくりなど、校区での防災対策を進めてきたこの地域で、すがお校区(中谷自治会)と合馬校区の双方があるまちです。今回は市民センター主催の生涯学習講座として、『防災』をテーマにした3回シリーズで実施することとなりました。

両谷市民センター 生涯学習市民講座  
**このまちの暮らしの中での防災講座**

豊かな自然は、時として牙をむきます。いつ起こるかわからない災害、その時私たちはどのような行動をとればいいのか?一緒に学んで「我が家の避難計画」を立ててみませんか?  
各回でテーマが異なりますので、ひとつだけでも受講できます。

第1回 5月18日(水) 10:00~11:30	このまちの地形や自然、暮らしの中にある天気・災害 ～このまちにはどんな危険が潜んでいるの?～ 【講師】 NPO法人 好きっちゃん北九州 理事 入門 真生 氏
第2回 5月25日(水) 10:00~11:30	我が家の災害への備え、いまできること ～いざという時に何を準備してどこへ避難する?～ 【講師】 NPO法人 好きっちゃん北九州 理事 入門 真生 氏
第3回 6月8日(水) 10:00~11:30	自助から共助へ、地域の防災力とは ～まずは自分を守る!そしてみんなで力を合わせて!～ 【講師】 NPO法人 KID's work 代表理事 大久保 大助 氏

第1回目、天気・気象に関する部分を当団体にて担当。第2回は、『自助』に関する部分について、Bousaiファシリテーターの小代氏が担当することに。最終回は、KID's workの大久保氏が担当し、『共助』の防災まちづくりについて実施することしました。小代氏と大久保氏は両者とも、このまちのBousaiまちづくりに携わっており、この講座の企画段階からホップ・ステップ・ジャンプの構成にできるように調整を図っていました。



R4.5.18  
このまちの地形や自然、暮らしの中にある天気・災害

NPO法人 好きっちゃん北九州 入門 真生

暮らしの中にある季節の移ろい

どう読みますか?  
**天気予報は、ずれる**

東西南北へのズレ  
時間の前後のズレ  
雨量の大小のズレ

天気予報クイズ～♪

【第1問】  
天気予報は、順次更新されますよね?  
同じ天気予報なのはどれでしょう?

①朝 4時 ②朝 7時 ③朝 9時 ④昼 13時 ⑤昼 16時 ⑥夜 18時 ⑦夜 21時 ⑧夜 0時

朝5時  
昼前11時  
夕方5時

天気予報クイズ～♪

【第2問】  
数日先の天気予報には、**確度の高い日と低い日がある!**

天気予報クイズ～♪

【第3問】  
『たまに降る雨』は何と言いますか?  
どちらが降る時間が長い?

①くもり、一時、雨 『一時』 ~1/4  
②くもり、時々、雨 『時々』 1/4~1/2

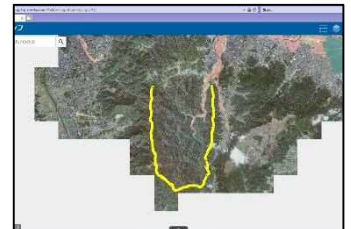
天気予報クイズ～♪

時刻 予報用語

00時から03時	夜
03時から06時	明け方
06時から09時	朝
09時から12時	昼
12時から15時	昼過ぎ
15時から18時	夕方
18時から21時	夜のはじめ頃
21時から24時	夜遅く

【第4問】  
天気予報には、時間帯を示す言葉を用います。  
この部分の呼び名は?

①…明け方  
②…昼過ぎ  
③…夜のはじめ頃



日頃、何気なく見てみる『天気予報』暮らしの中にある自然や気象を感じる展開とし、順に迫っていきました。そのまちの地形や、季節の中で訪れる、暮らしの中にある災害について考えていく講座となりました。この初回が、空や自然を感じる基礎編で、その後の、自助・共助の講座へと繋がりました。

自治会・社協・まち協など、地域での取組みと、市民センターの生涯学習講座を連動させ、3回シリーズの学びが連動し、また地域に目線が向かうように構成されており、とても有意義な講座と感じました。

## 明治学園高校 防災・減災とは『共助』～住み続けられる街に～



- 1 日時 令和4年6月28日（火）15：35～16：40
- 2 場所 明治学園高校
- 3 参加者 24人

コロナ前には、『あそぼうさい』で連携を深めていた明治学園高校の皆さん。活動が停止してからは連携の機会がなく、当時の生徒たちも卒業しています。生徒たちも一新して、改めてお声かけいただき、防災減災や『共助』についてお話をしてきました。

### 防災・減災のために高校生ができること

2022 07.16

中学高等学校

6月28日（火）課題研究Cグループ「自然災害と防災・減災」班と高校1年生有志は、NPO法人好きっちゃん北九州の入門真生氏にお越しいただき、「防災・減災のために高校生ができること」についてのお話を伺いました。入門氏は、「防災・減災のためには市民が中心となって連携することが重要である」という視点で活動されている方です。その一環として小学生を対象に「あそぼうさい＝遊びながら防災を伝える」というイベントを企画、実施されています。

生徒は、防災・減災で一番大切なことは「人が死なない」ことで、それには「共助」が重要であることを学びました。入門氏からの「小学生と高校生は斜めの関係、高校生だからこそ小学生に伝えることがたくさんある」というメッセージを受けて、生徒は啓発活動にも興味をもったようです。



明治学園高校HPから引用

<https://meijigakuen.ed.jp/news/jsh/10941/>

『SGHネットワーク校としての取組み』

SGH: スーパーグローバルハイスクール

目の前にある自然のこと。ぼくたちの暮らすこの街も、先人たちから引き継いできたことを考えていきました。そんなところへの『気付き』や『アンテナ』を持つことが重要であることと、だからこそ、様々な活動を通じて学びの輪を広げていくことについてお伝えしました。

高校生と一緒に活動していただくことで、とても大きな効果があると思います。生徒たちは、これからの活動に対して興味をもっていただいたようです。今後の連携が楽しみです！！

## 葛原ウェルクラブ『福祉の講座』



- 1 日時 令和4年8月20日(土) 10:00~12:00
- 2 場所 葛原市民センター
- 3 参加者 22人



### ■実施内容「ブースプログラム」

#### ①高齢者・片麻痺体験

専用ベストや靴を着用して高齢者体験と片麻痺の体験。白内障メガネで見え方の体験も。

#### ②視覚障がい体験

アイマスクをして目の見えない体験。白杖代わりの杖を使って廊下や階段を歩いたり、見えない人の介助の仕方も体験しました。

#### ③車イス体験

車イスの使い方を学んだ後、屋外で車イスの介助や、1人で乗る体験をしました。

### ■実施内容「全体進行プログラム」



手を使わずに靴下を履いてみよう！  
利き手を使わずジュースも飲めるかな？



「めだかの学校」を手話で歌おう♪  
めだかの“め”の指文字で。ハイ、ポーズ！



子ども講座を行っている葛原校区社会福祉協議会の依頼により、福祉の体験講座を実施しました。今回の講座で大切にしたいのは以下の3点です。○助けてあげるといような上から目線ではなく、フラットな目線で対応できるようになってほしい。○支援する人、される人双方の立場を体験することで、体感・共感してほしい。○難しく考えず、気楽に楽しく実践してほしい。子ども達は支援する側だけでなく、される側の体験もすることで、どんな風に声掛けしてもらったらいいのか、コツを自然に掴んで実践できるようになっていました。体験に勝るものはないですね！

初めての福祉講座は、とても有意義で心のもった活動になりました。支援する側、される側、双方の体験をすることで、お互いの気持ちに寄り添えるようになったと感じます。子どもの頃からこうした体験を積み重ねていくことで、共生の心が自然と養われていくのではないかと思います。

## ギラ☆ランド de あそぼうさい!

- 1 日時 令和4年9月11日(日) 14:00~17:00
- 2 場所 ミクニスタジアム前
- 3 参加者 750人 協働生徒・学生30人



ギラヴァンツ北九州からお声掛けいただき、『防災の日』に近いホームゲームにて、集客効果を兼ねた防災関係のイベントを実施したいとのことで、協働で『あそぼうさい』を実施することになりました。北九州ESD協議会の『グリーンギフトプログラム』の支援もいただき、実施することができました。

北九州市立大学防犯・防災プロジェクトMATEs、3Club、九州共立大学SDGsチャレンジアクション研究会、明治学園高校の皆さんに、それぞれブースプログラムを作成・運営していただきました!



多くの親子連れがご来場され、それぞれのあそぼうさいや、様々な体験型の防災ブースで楽しんでいただきました。あそぼうさいを楽しみにご来場して下さった方のみならず、ギラヴァンツファンの皆さんも防災に触れる機会となりました。『好きっちゃんアカデミー』の大学生・高校生メンバーと楽しく活動することができました。イベント終了後には、みんなでサッカーの観戦をしました!

好きっちゃんアカデミーの皆さんが、積極的・主体的に活動に取り組んでいただきました。それぞれのブースを企画段階からしっかり考えていただき、当日も運営していただきました。こうして多くの皆さんと『協働』することで、大きな力を生み出していけることを実感するイベントとなりました。

# 子育てふれあいルーム さざん ～家族の”いのち”をまもるために～



- 1 日時 令和4年9月17日(土) 13:30～15:00
- 2 場所 小倉南区親子ふれあいルーム『さざん』
- 3 参加者 15人

台風第14号が接近する中！毎年、子育て関連の依頼をいただく『さざん』での防災に関する講座です。特に乳幼児のいる世帯を対象に、家族の“いのち”を守るために考えていきたいことについて確認しました。赤ちゃんがウロウロしたり、声を出したり、和気あいあいとした雰囲気でもパパ・ママに参加いただきました。

## 9月 企画報告

### 「家族の”いのち”をまもるために」

日時：9月17日(土) 13:45～15:00 参加：6組  
講師：入門真生さん (NPO 法人 好きっちゃん北九州 理事長)



毎年恒例となりつつある、“いりかどさんの講座”！  
防災のエキスパートであり、4人の子どもをもつ先輩パパに、家庭や地域での防災対策について伺いました。  
子育て中だからこそ知っておきたい、家庭での着目点、災害への必要な備え、地域と防災の関係など盛りだくさんの内容で、目からウロコのお話も！

時まさに台風14号が北九州に接近中で(講座開催も危うかった…)、台風情報の見かたや大雨の際の避難の見極めかたなどのお話に、参加者のみなさんもメモを取りながら熱心に聞き入っていました。  
家庭での備えとしては、ストック品を日々の生活で使いながら補充していく「ローリングストック」が有効だそうです。ミルクや離乳食、おむつやおしりふき、子どもが食べ慣れたおやつなど、“我が家”に合ったものを準備しておくことによいでしょう。

また、日ごろから地形や避難場所を知っておくことはもちろん、そこに暮らす人たちとのコミュニケーションが大切だということです。  
地域でも「子はかすがい」。  
特に子どもが小さいときは、地域と繋がりを作るチャンスです。お互いの顔を知ることで、防災だけでなく、防犯にも役立ちます。ふだんのお散歩や公園遊びの時、ご近所さんとのあいさつから始めてみませんか。(スタッフ M&O)



【見守りのグランマの感想】  
アットホームな感じで皆がお話を聞いていました。お子さんたちもそれぞれ楽しそうに遊んでいました。

#### 参加者の感想

★日頃からできるようなこと。(あいさつや非常用持出し袋など)をたくさん教えてもらえて、まさに今日からやってみよう！  
実際災害現場に行かれた入門さんからのメッセージ、心に響きました！

★風・雨の状況など詳しく教えて頂き助かりました。ニュースではあまり細かく教えてはくれないので、今後の役にたちます。  
いつも逃げる・逃げないで悩むことが多いので、家族で話して決めておきたいと思います。(ママ)

### 【上：さざん発行の報告書『さざんニュースレター』】

<p>今日の目的</p> <p>～乳幼児世帯の防災対策～</p> <p>『家族の”いのち”をまもるために』</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 住居、家庭内での着目点</li> <li>② 災害への必要な備え</li> <li>③ 地域と防災の関係</li> </ol>		<p>緊急地震速報…</p> <p>身体を守る場所に!!</p> <p>安全スペースが狭い場合には机の下へ入ろう</p>	
<p>家庭内での事故やケガ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 誤飲 { たばこ おもちゃ 食べ物 }</li> <li>② 転倒 { 階段 イス }</li> <li>③ 打撲 { 机の角 ドア }</li> <li>④ 火傷 { 台所・電子レンジ お湯・熱いもの }</li> </ol>	<p>まちの魅力を探る</p> <p>地名・地形を見る</p> <p>歴史・遺産・価値・魅力が見えてくる</p> <p>備えるべき災害が見えてくる!!</p>	<p>被災地住民が語る</p> <p>「災害発生の前日に戻れるとしたら？」</p> <p>『ご近所とあいさつがしたい』</p>	<p>災害時には地域の力!</p> <p>ご近所(互近助)での助けあい</p> <p>⇒安否確認</p> <p>⇒日頃からのコミュニケーション</p> <p>地域でも、『子は鎧』</p>

防災をテーマにした『安全』の話においても、まずはアンテナを高くして関心をもつことから始まります。地域の中での災害。地域の中での人の繋がり。我が子のため、暮らしの中で安全をつくっていききたいですね。



# 令和4年度 様々な分野での女性の参画推進講座 大切な人を守るため学び備えよう！～多様な視点から考える『防災』～ 今さら聞けない!? 防災の目線 ～男女共同参画の視点から～

- 1 日時 令和4年10月29日(土) 13:30～16:00
- 2 場所 ムーブ 5階大セミナールーム
- 3 参加者 58人



男女共同参画や、女性の活躍をテーマにした防災セミナーで登壇させていただきました。  
好きっちゃんの活動の様子や想いを知っていただこうと『パネル』を作成し、設置させていただきました！  
男女共同参画の話題に触れつつも、今さら聞けない!?という基礎的なお話もさせていただきました。



災害が起こるまでの時系列的な時間の流れ、『命を守る』というポイントは、どこなのか。もちろん、災害が起こってしまう前の行動が重要です。『防災』は力が要るといような男性色のイメージが強いかもしれませんが、実は、声をかける。日頃から思いやる、繋がるといったような、女性が得意とする部分も多く、女性が活躍する部分が大きいのではないのでしょうか?という話をさせていただきました。

避難所の開設数や、避難情報の種類など、防災の基本的な内容をおさらいしつつ、防災の本質を順に手繰り寄せていくような構成といたしました。最後に、心技体の3要素で考えると、やはり『心』の部分が重要であり、地域の中で性別や年齢に関わらず、それぞれが思い合い支え合う地域づくりを目指したいです。

<p><b>今日の話題</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 自己紹介・活動紹介</li> <li>2 防災の魅力</li> <li>3 今さら聞けない!?防災のこと</li> <li>4 災害の色は何色?</li> <li>5 災害の時間軸</li> <li>6 避難スイッチ</li> <li>7 自然と災害</li> <li>8 自助共助公助、老若男女、心技体</li> </ol>	<p><b>女性 &amp; 男性</b></p> <p>それぞれの特性があります</p> <p>男女平等も大切ですが、それぞれの特長・能力を活か合えると良いですね。</p>	<p>地域での防災まちづくり</p> <p><b>老若男女</b></p> <p>協働・きっかけづくり・地域づくり</p>	<p>防災に必要なこと</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------	-----------------

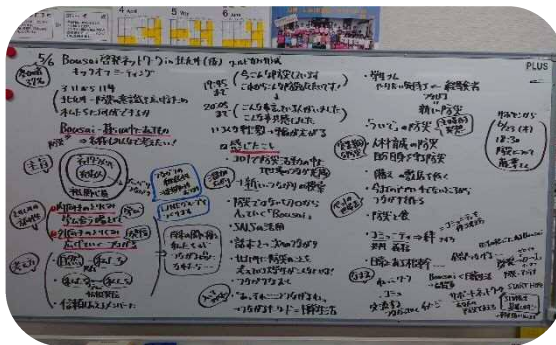
ムーブでは、『女性と防災』のテーマで毎年、防災啓発に励まれていました。ぼくたちの進める、地域づくりとしての防災。声を掛け合ったり、思いやりの中での防災は、親和性の高いものと感じました。

## 『防災Lab.北九州』での取り組み



北九州で防災に関わる人、学びたい人たちが集まる『プラットフォーム型』の組織を結成！  
北州市のSDGsスタートアップ助成金の支援をいただき、活動を展開しました！

令和4年5月6日 キックオフミーティング @市民活動サポートセンター 参加者45人



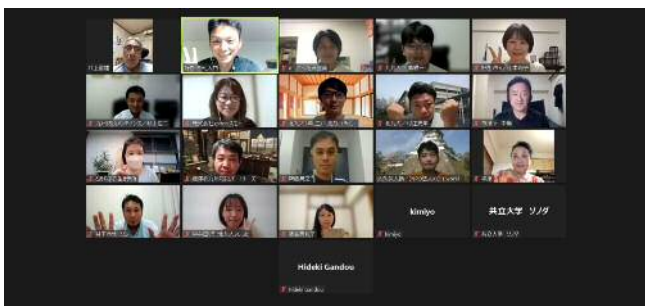
市民向けの防災啓発活動のみならず、メンバー相互の『学び合い』を大切にしたネットワークです。  
お互いが先生にも生徒にもなり、意見交換などを含めて、毎月の勉強会を実施しました！

令和4年6月24日 『学び合いの会』

@ZOOM 参加者21人

講師：一般社団法人九州防災パートナーズ 藤澤 健児氏  
北州市での防災まちづくりの取り組み

講師：特定非営利法人 KID 's work 大久保 大助氏  
線状降水帯情報について



令和4年7月15日 『学び合いの会』

@ZOOM 参加者23人

講師：環境防災サークル北九大3Club 中牟田 リラ氏  
『環境×防災』の視線



令和4年8月18日 『学び合いの会』

@ZOOM 参加者22人

講師：合同会社ノーエン 齋藤 典之氏  
気候変動と気象現象



令和4年9月14日 『学び合いの会』

@ZOOM 参加者22人

講師：九州防災メンテナンス株式会社 杉山 信二氏  
斜面災害

令和4年10月18日 『学び合いの会』

@ZOOM 参加者27人

講師：一般社団法人海峡都市関門DMO 巖洞 秀樹氏  
防災アトラクションの体験



令和4年11月30日 『学び合いの会』

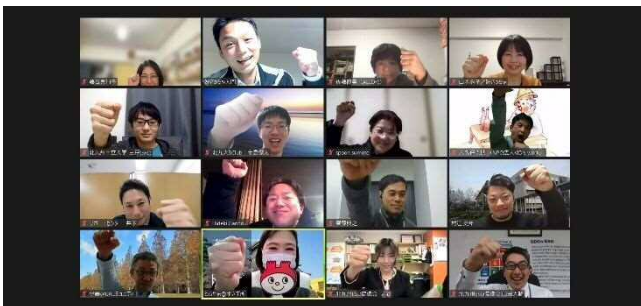
@ZOOM 参加者21人

講師：藤澤 健児氏、谷本 潤氏、佐藤 直美氏  
溝上 憲司氏、細山田 壮氏  
『防災×イベント』

令和4年12月21日 『学び合いの会』

@ZOOM 参加者16人

講師：NPO法人ALLOK 佐藤 直美氏  
ペット防災



令和5年1月20日 『学び合いの会』

@ZOOM 参加者22人

講師：（一社）生き方のデザイン研究所 遠山 昌子氏  
インクルーシブデザイン

令和5年2月15日 『学び合いの会』

@まなびとESDステーション 参加者25人  
『防災の日』100年プロジェクトミーティング



令和5年3月13日 『学び合いの会』

@ZOOM 参加者22人

講師：特定非営利法人 KID's work 大久保 大助氏  
車中泊

## 防災Lab.北九州での SDGsスタートアップ助成金での成果物

### ①ロゴの作成



#### 【デザイナーさんのコメント】

『災』の上の水害を表す<<<を反対にし、『防ぐ』ことを前に進める（右に進む>）イメージした。

また、>>>>>とつなげていくことをイメージした。

#### 【ロゴの選定方法】

デザイナーさんに複数の案を作成いただき、中心的なメンバーで予選をした末、参加メンバーの皆さんで意見し合いながらの投票を行い、決定した。

### ②ホームページの作成

更新しやすいことと、このホームページを拠点に、各団体へのリンクが広がることを重点的な目標とした。

継続性を考慮し、ランニングコストのかからない設定とした。

【 <https://bousailabkitakyu.wixsite.com/my-site> 】



（ホームページのトップ画面）





より安定した活動資金とするため、活動の趣旨に共感・賛同いただける方からの『協賛金(寄付)』を募集しています。どうぞよろしくお願いいたします。

〔 西日本シティ銀行(0190) 徳力支店(256) 普通 3060259  
NPO法人好きっちゃん北九州 理事長 入門 真生 一口:3,000円 〕

NPO法人好きっちゃん北九州  
事務所:北九州市小倉南区南方五丁目7番22号  
電話番号:090-9723-6673(理事長:入門)